HDMI 入力 Cat6 分配送信器

HDC-TH401/201/101

取扱説明書 Ver.1.3.0

IDK Corporation

この度は、本製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本製品の性能を十分に引き出してご活用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

なお、お客様がお持ちの製品のバージョンによっては、取扱説明書に記載される外観図、メニュー操作および通信コマンドなどが、一部異なる場合がありますのでご了承ください。

最新の取扱説明書は、弊社のホームページからダウンロードすることができます。

http://www.idk.co.jp/

同梱物の確認

以下の同梱物がすべてそろっているかご確認ください。
万一、同梱物の不足や、損傷などの不良がありましたら、お手数ですが弊社までご連絡ください。

- HDMI 入力 Cat6 分配送信器　1 台
- 電源コード(1.8m)　1 本
- コードクランプ　2 個
- 取扱説明書(本書)　1 冊

ご使用の前に必ずお読みください

安全上のご注意

この取扱説明書には、お客様や他の人への危害や損害を未然に防ぎ、製品を安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）を良く理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

「警告」、「注意」、「記号」の意味

表　示	表示の意味
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します

図記号	図記号の意味	記号例
注　意	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。	感電注意
禁　止	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	分解禁止
指　示	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。	プラグを抜く

⚠ 警告

指 示

・据付工事について
技術・技能を有する専門業者が据付けを行うことを前提に販売されているものです。据付け・取付けは必ず工事専門業者または当社営業部に問い合わせ下さい。火災・感電・けが・器物破損の原因になります。

指 示

・電源プラグは、コンセントから抜きやすいように設置する
万一の異常や故障のときや長時間使用しないときなどに役立ちます。

指 示

・電源プラグは指定電源電圧のコンセントに根元まで確実に差し込む
差し込み方が悪いと、発熱によって火災・感電の原因になります。傷んだ電源プラグ、緩んだコンセントは使用しないでください。

プラグを抜く

・煙が出ている、異音、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用をすると、火災・感電の原因になります。煙が出なくなるのを確認し、当社営業部に問い合わせ下さい。

プラグを抜く

・落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電・けがの原因となります。点検・修理については当社営業部に問い合わせ下さい。

プラグを抜く

・内部に水や異物がはいったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜く
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。点検・修理については当社営業部に問い合わせ下さい。

禁 止

・不安定な場所に置かない
水平で安定したところに設置してください。本体が落下・転倒してけがの原因になります。

禁 止

・振動のある場所に置かない
振動で本体が移動・転倒し、けがの原因になります。

分解禁止

・修理・改造・分解はしない
内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因になります。内部の点検・調整及び修理は当社営業部に問い合わせ下さい。

禁 止

・異物をいれない
通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部に入った場合、火災・感電の原因になります。

禁 止

・電源コード・電源プラグは
・傷つけたり、延長するなど加工したり、過熱したりしない
・引っ張ったり、重いものを乗せたり、はさんだりしない
・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない
そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。電源コード・電源プラグが傷んだら当社営業部に問い合わせ下さい。

接触禁止

・雷が鳴り出したら電源コードや LAN ケーブル、本体などには触れない
感電の原因になります。

指 示

・電源プラグのほこりなどは定期的にとる
電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因になります。

機器の接続について

指 示

本機器と周辺機器との接地電位差により感電、もしくは機器の破損が発生する場合があります。機器間をケーブルで接続する際は、長距離伝送接続なども含めて、関係する全ての機器の電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

各機器の信号・制御ケーブルを接続し、終了した後に各機器の電源プラグをコンセントに接続してください。

⚠ 注意

禁 止

・温度の高い場所に置かない
直射日光が当たる場所や温度の高い場所に置くと火災の原因になります。

禁 止

・湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない
加湿器のそばやほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因になります。

禁 止

・通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因になります。

禁 止

・本体付属の AC アダプタまたは、電源コード以外のものは使用しない
不適合により、火災や感電の原因になります。本体付属の AC アダプタまたは、電源コードは 100V 系国内専用です。海外など 200V 系でご使用になる場合は、当社営業部に問い合わせ下さい。

禁 止

・機器の上に重いものを置かない
倒れたり落ちたりしてけがの原因になります。

禁 止

・コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしない
タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因になります。

ぬれ手禁止

・ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

プラグを抜く

・長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く
万一故障したとき、火災の原因になります。

指 示

・使用温度/湿度範囲、保存温度/湿度範囲を守る
範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になります。

指 示

・他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る
火災や感電の原因になります。

プラグを抜く

・お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。

設置についてのお願い

・ラックマウント製品の場合

指 示

EIA 相当のラックにマウントしてください。その際には上下に空冷のための隙間を空けるよう考慮してください。また、安全性を高めるため前面のマウント金具と併用して L 型のサポートアングルなどを取り付けて、機器全体の質量を平均的に支えるようにしてください。

・ゴム足つきの製品の場合

指 示

ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合は付属のゴム足、付属のネジ以外は使用しないでください。

目次

1 製品概要 8

2 特長 9

3 各部名称と働き 10

3.1 フロントパネル 10

3.2 リアパネル 11

4 接続方法 13

4.1 HDMI ケーブルの接続 13

4.2 DVI ケーブルの接続 15

4.3 長距離伝送用ツイストペアケーブルの接続 16

5 基本操作 17

5.1 メニュー操作 17

5.2 工場出荷時の設定に戻す 18

5.3 使用時の注意事項 19

5.4 その他の注意事項 20

6 各種メニューの設定 21

6.1 メニュー操作の流れ 21

6.2 メニュー番号 22

6.3 EDID データのコピー 24

6.4 EDID 解像度設定（外部／コピー／内蔵） 26

6.5 外部 EDID 設定 29

6.6 コピーEDID 設定 30

6.7 信号の無入力監視設定 31

6.8 Deep Color 設定 33

6.9 PCM Audio 設定 34

6.10 AC-3/Dolby Digital Audio 設定 35

6.11 AAC Audio 設定 36

6.12 Dolby Digital + Audio 設定 37

6.13 DTS Audio 設定 38

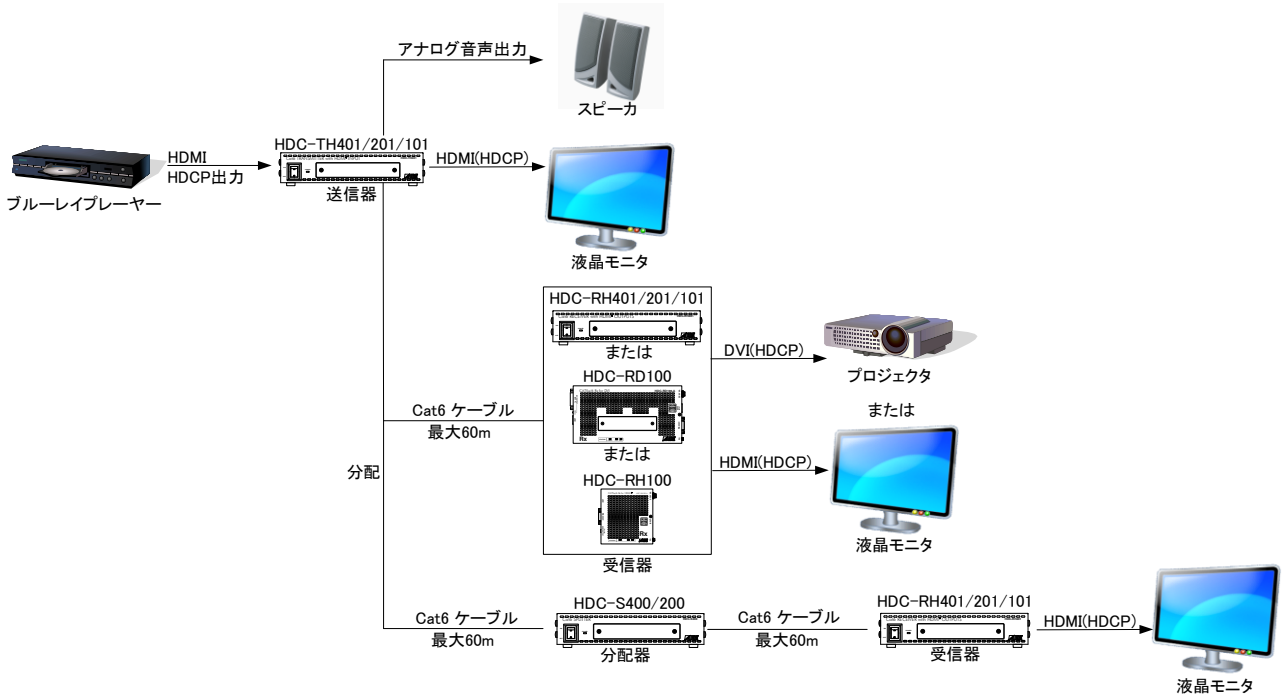
6.14 DTS-HD Audio 設定 39

6.15 Dolby TrueHD Audio 設定 40

6.16 Audio チャンネル数設定 41

6.17 EDID 物理アドレスコピー設定 43
6.18 音声出力設定 44
6.19 CEC 選択 44
6.20 EDID WXGA 選択 45
6.21 バージョン情報表示 46
6.22 メンテナンス表示設定 47
6.23 強制 HDMI モード出力設定 48
6.24 HDCP 設定 49
6.25 ホットプラグ オフ マスク設定 50
6.26 強制カラー変換モード出力設定 51
6.27 状態表示 52
7 仕様 58
7.1 製品仕様 58
7.2 HDMI Type A コネクタのピン配列 60
7.3 RJ-45 コネクタのピン配列 60
8 正常に動作しないときは 61

1 製品概要



[図 1.1] 接続図

本機は、HDMI 信号または DVI 信号をツイストペアケーブルで延長が可能な分配送信器です。

HDMI 信号を最大 4 分配し、ツイストペアケーブルでデジタル出力されます。弊社ツイストペアケーブル延長器と組み合わせることで映像・音声信号の延長が可能です。

HDMI 出力を備え、手元での映像確認に使用できます。

HDMI エンベデッドオーディオ信号のアナログ音声出力コネクタを備え、用意に音響機器への接続が可能です。

2 特長

■映像

・最大解像度は QWXGA、1080p
・Cat6 ケーブルで最大 60m 延長可能
・モニタ出力が可能な HDMI 出力を搭載
・アンチストーム機能を搭載 (注 1)

■音声

・HDMI エンベデッド音声をアナログ出力可能

■その他

・HDCP によるコンテンツ保護された HDMI/DVI 信号を延長可能
・内蔵 EDID エミュレーション機能による、仮想モニタ機能
・入出力信号の状態表示機能を搭載
・コネクションリセット機能を搭載 (注 2)

◆ HDCP とは

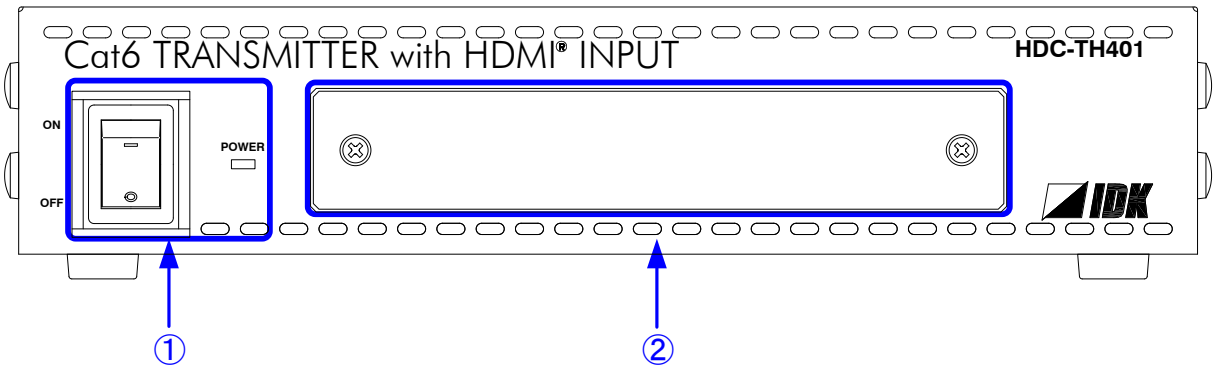
HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection System):デジタル映像信号に対する著作権保護技術です。

(注 1) HDCP により著作権保護された映像を表示する際に、度々発生する砂嵐映像表示を自動復旧させる機能です。おもに起動時に発生する砂嵐問題を復旧させる機能であり、本機に入力された信号で既に砂嵐が発生している場合や、伝送路の品位で発生する砂嵐問題には対応できません。

(注 2) デジタル AV システム特有の、コネクタの抜き差しにより映像表示が復旧する問題を、自動復旧させる機能です。コネクションリセット機能は本機出力のみに対応した機能で、本機出力と表示機器の間に他の機器が接続されている場合は、機能が有効にならない場合があります。

3 各部名称と働き

3.1 フロントパネル



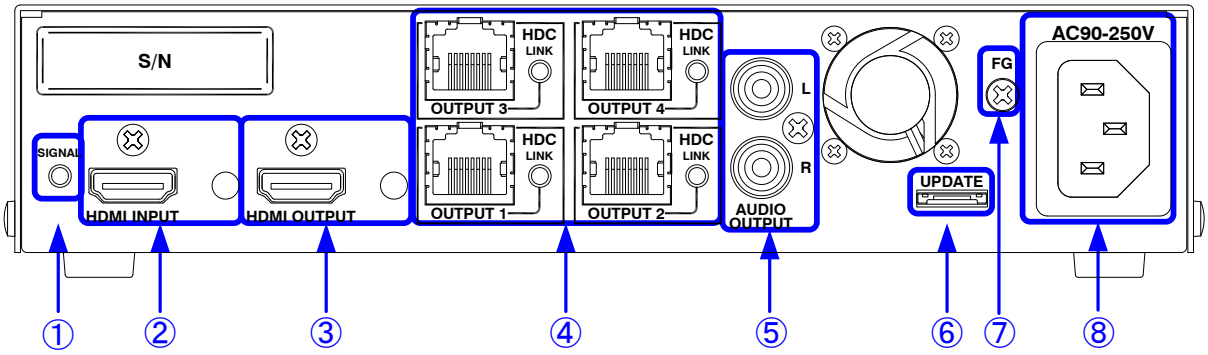
[図 3.1] フロントパネル

[表 3.1] フロントパネル各部の名称 (HDC-TH401/201/101)

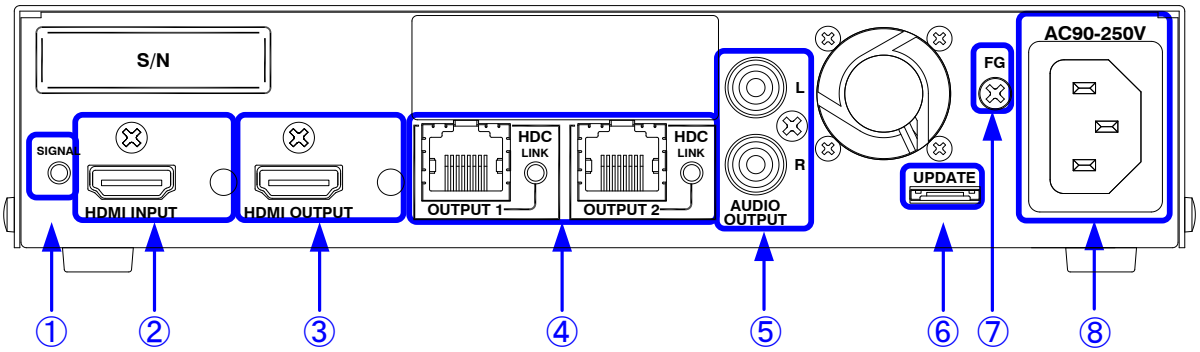
番号	名称	説明
①	主電源スイッチ（ POWER ）	本機の電源を ON/OFF します。電源 ON 時には POWER LED が点灯し、OFF 時には消灯します。
②	ディスプレイおよび メニュー操作キー	各種メニューの操作を行う場合に使用します。詳しくは **5.1 メニュー操作** (17 ページ)をご覧ください。

※フロントパネルは HDC-TH401/201/101 共通となります。

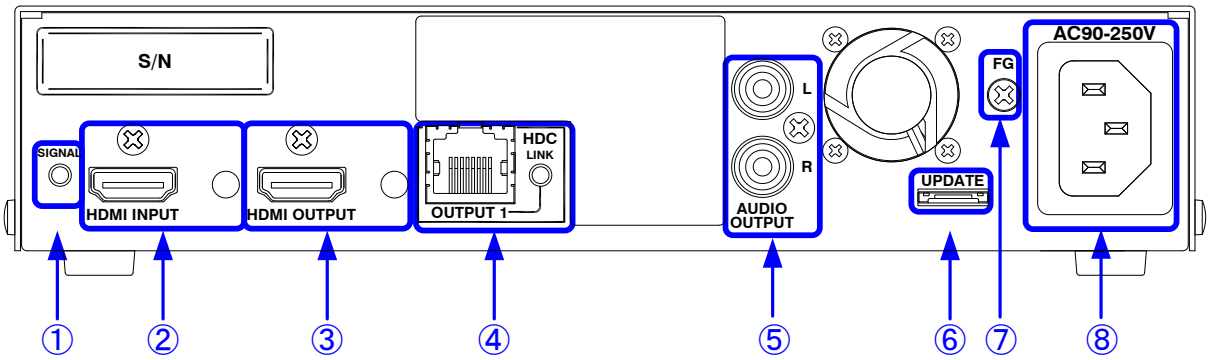
3.2 リアパネル



[図 3.2] HDC-TH401 リアパネル



[図 3.3] HDC-TH201 リアパネル



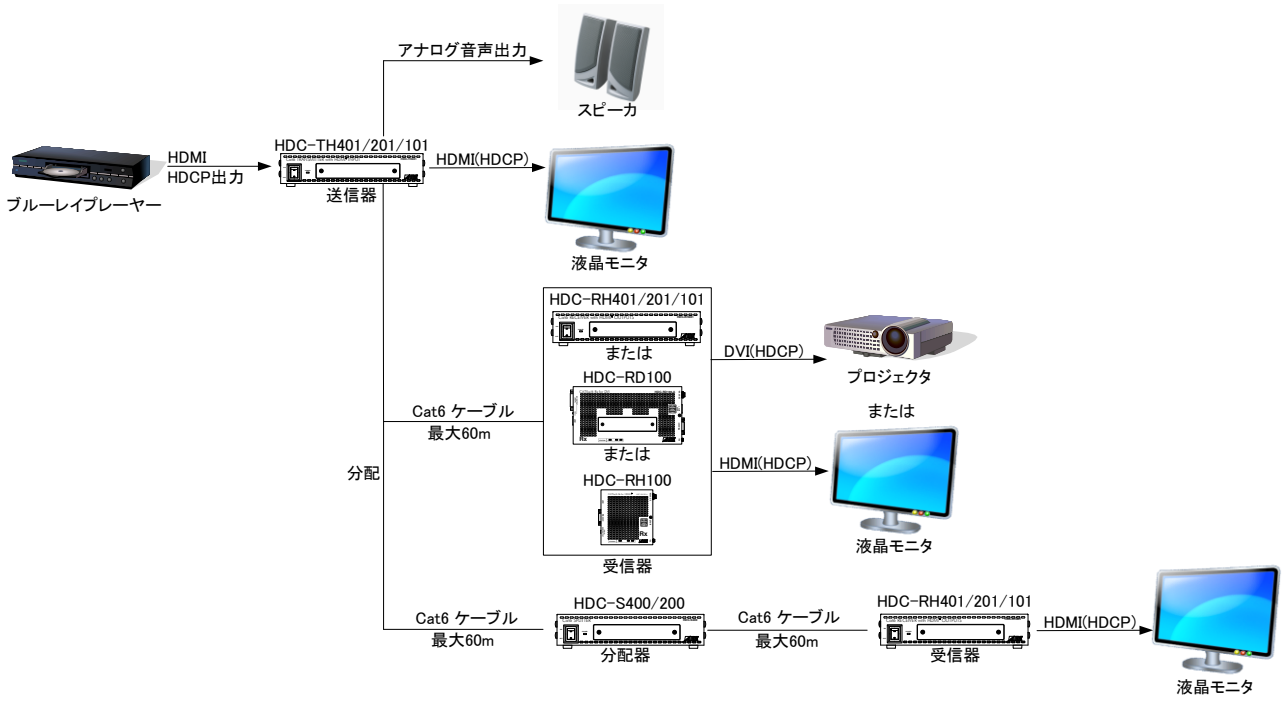
[図 3.4] HDC-TH101 リアパネル

[表 3.2] リアパネル各部の名称 (HDC-TH401/201/101)

番号	名称	説明
①	SIGNAL LED (SIGNAL)	HDMI INPUT に信号が入力されたときに点灯します。
②	HDMI 入力コネクタ (HDMI INPUT)	HDMI 信号の入力端子です。ブルーレイプレーヤー、DVD プレーヤーなどのソース機器を接続します。
③	HDMI 出力コネクタ (HDMI OUTPUT)	HDMI 信号の出力端子です。モニタ、プロジェクタなどのシンク機器を接続します。
④	HDC 出力コネクタ (OUTPUT1～OUTPUT4)	延長用デジタル出力端子です。HDC シリーズの受信器と接続することが可能です。HDC LINK LED は HDC シリーズの受信器との接続が確認されると点灯します。 HDC-TH401 は OUTPUT1 ～ OUTPUT4 の 4 出力 HDC-TH201 は OUTPUT1、OUTPUT2 の 2 出力 HDC-TH101 は OUTPUT1 のみの 1 出力となります。
⑤	アナログ音声出力コネクタ (AUDIO OUTPUT)	HDMI 入力コネクタからのアナログ音声信号を出力します。 出力される音声信号については詳しく **5.3 使用時の注意事項**(19 ページ)をご覧ください。
⑥	保守用コネクタ (UPDATE)	このコネクタには何も接続しないでください。
⑦	フレームグランド (FG)	屋内配線のアース端子と接続します。
⑧	電源コネクタ(AC90-250V)	付属の電源コードを接続します。

4 接続方法

下図は、HDC-THx01（送信器）、HDC-Sx00(分配器、)HDC-RHx01（受信器）を使ったシステム構成図です。

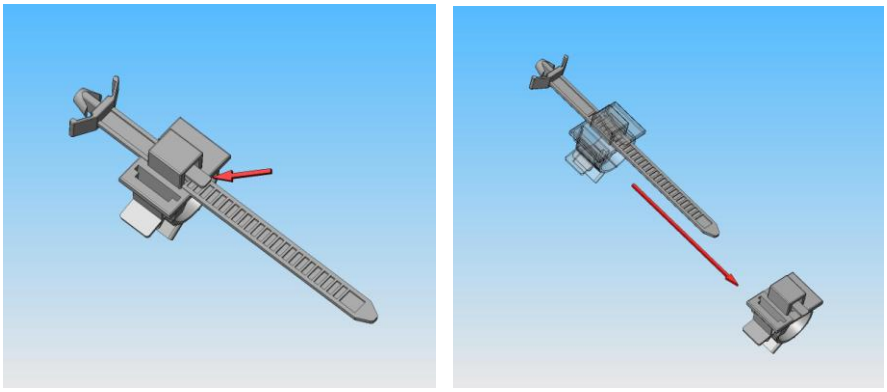


［図 4.1］システム構成図

4.1 HDMI ケーブルの接続

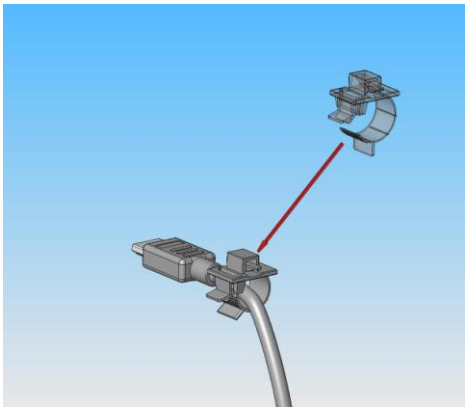
1）HDMI の入出力用コネクタに接続するケーブルは、HDMI TypeA（19 ピン）・オスコネクタのケーブルを使用してください。入出力には 5m 以下のケーブルを使用してください。
2）HDMI 入出力ケーブルは奥までしっかりと挿入し、コネクタにストレスを与えないような配線をしてください。
3）HDMI ケーブルにはロック機構がありませんが、付属の「コードクランプ」にて抜け防止が可能です。

手順 1　コードクランプの矢印部分を持ち上げてバーとリング部分を外します。



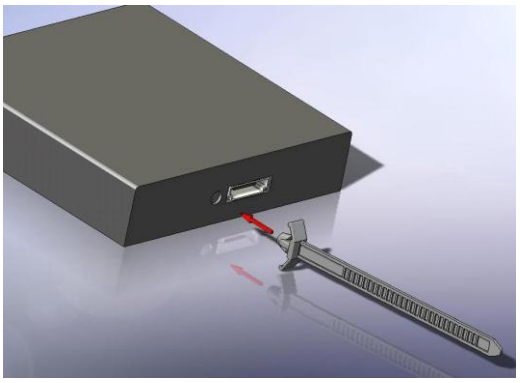
［図 4.2］バーとリングの分離

手順 2　外したリングを HDMI ケーブルにくぐらせます。



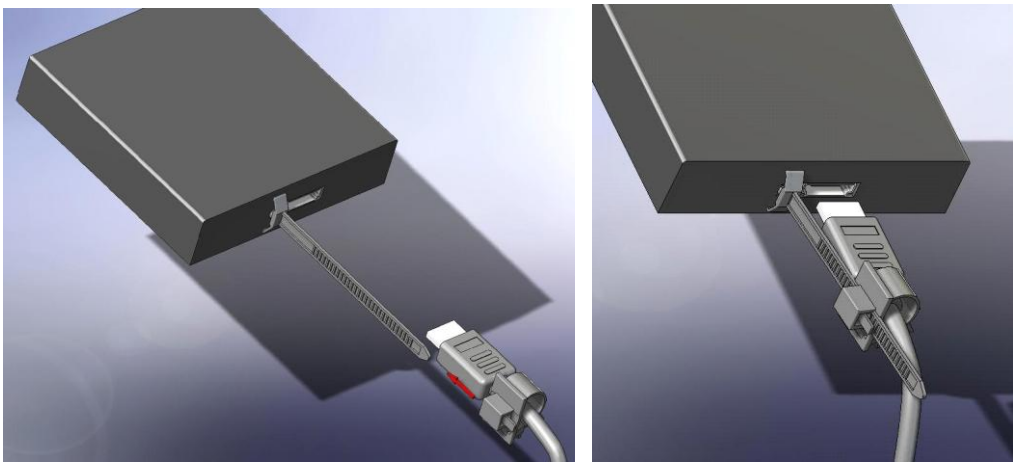
［図 4.3］ケーブルへのリングの取り付け

手順 3　凹凸がコネクタとは逆を向くようにバーを本体側の穴に差し込みます。



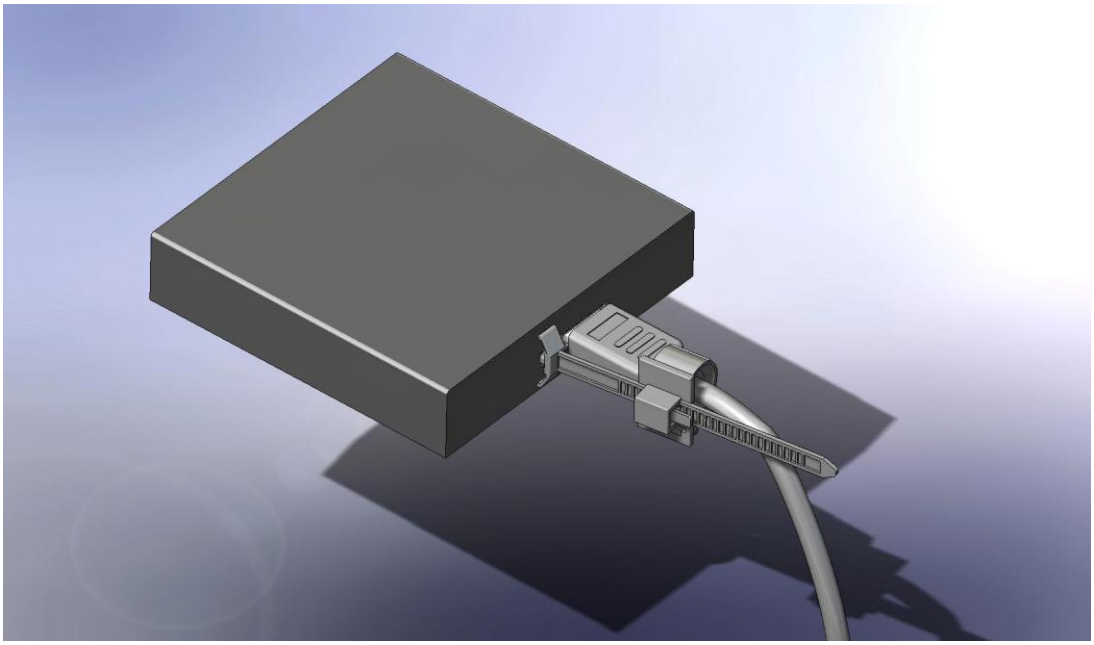
［図 4.4］バーの本機への取り付け

手順 4　HDMI ケーブルとリングをバーに取り付けます。



［図 4.5］バーとリングの結合

＜完成＞ ケーブルを外す時は、手順 2 と同様にしてリングと HDMI ケーブルを外します。



［図 4.6］ ケーブルの固定

4.2 DVI ケーブルの接続

1） 本機に DVI 機器を接続する場合、DVI/HDMI 変換ケーブルを用いて DVI コネクタを HDMI コネクタに変換して接続してください。

当社 DVI/HDMI 変換ケーブルの例

CBL-DH-015A (1.5m)

CBL-DH-03A (3.0m)

CBL-DH-05A (5.0m)

4.3 長距離伝送用ツイストペアケーブルの接続

イーサネットなどで使われる、8 芯のモジュラー式コネクタと同じですが、伝送方式が異なりますのでイーサネットに接続することはできません。

ツイストペアケーブルの正しい選定、設置をすることにより本機の性能を最大限に生かすことができます。

1) ツイストペアケーブルは、Cat6/ Cat5e 規格の UTP/STP ケーブルをお使いください。
STP ケーブルを使用する際は、フレームグランドを屋内のアース端子と接続してください。接続しない場合、シールド性能が正しく機能しません。また、UTP ケーブルを使用する際も、屋内のアース端子と接続することをお勧めします。
2) コネクタのピン配列は T568A もしくは T568B のストレート結線です。
3) 接続ケーブルを強く引張らないでください。ツイストペアケーブルの許容張力は 110N と規定されています。
4) 接続ケーブルはゆるやかに曲げてください。接続ケーブルの曲げ半径は、ケーブル外径の 4 倍以上としてください。
5) ツイストペアケーブルは、なるべくまっすぐに配線してください。円形に巻いた状態にすると、ノイズの影響を受けやすくなります。
6) ケーブルを固定する場合の結束は、結束バンド内でケーブルが緩く動く程度とし、強く締め付けないようにしてください。
7) 同一ケーブルを並列に敷設する場合は、ケーブル間の距離を離すか、ケーブル同士が平行に配されないようにケーブルを蛇行させて敷設することをお勧めします。
8) 高速な信号を伝送しているため、ノイズの多い環境への設置はしないでください。
高出力な無線機などを本機の近くで使用すると、映像や音声が乱れることがあります。
9) 送信器から受信器までの総延長距離が 60m 以内であれば、RJ-45 用中継コネクタや壁コンセントパネルを使うことが可能です

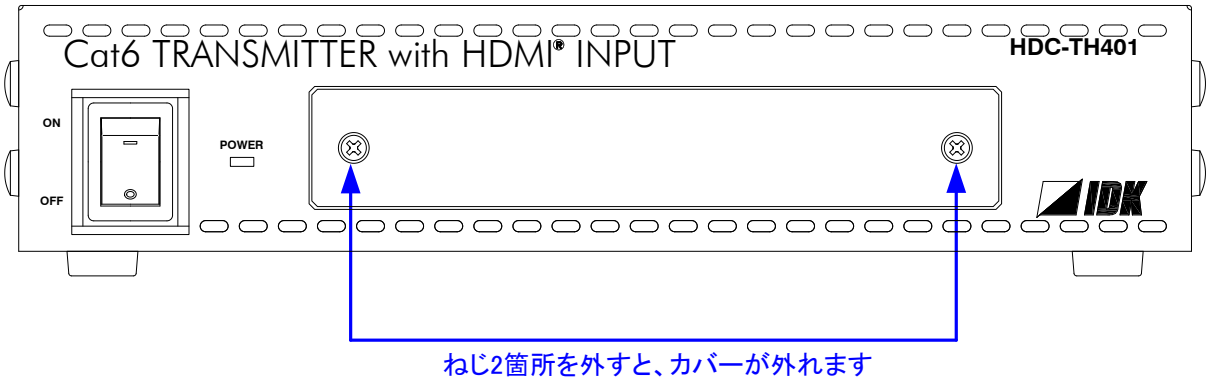
伝送路に問題がある場合、映像や音声が乱れることがありますので上記項目を確認してください。
映像や音声が乱れる場合、ツイストペアケーブルを短くすることで改善されることがあります。

5 基本操作

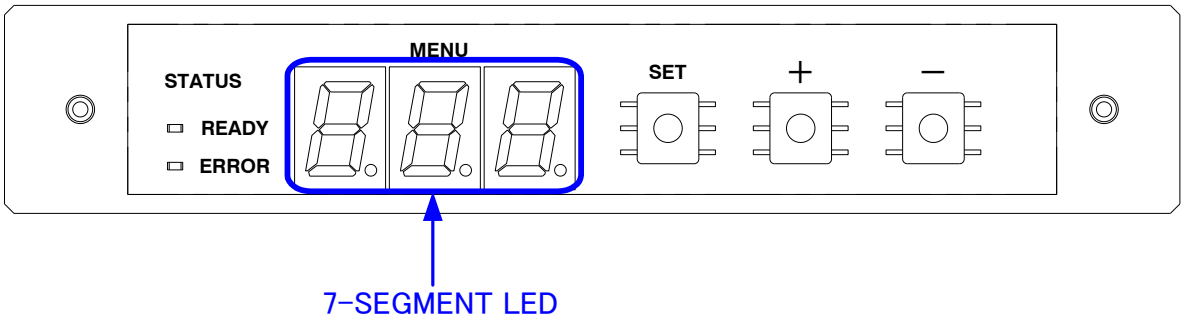
5.1 メニュー操作

各種メニューの操作を行います。

ディスプレイおよびメニュー操作キーはカバーで隠れていますので、操作を行う場合は、フロントパネルのねじ 2 箇所を外しカバーを取り外してください。



[図 5.1] カバーの取り外し



[図 5.2] ディスプレイおよびメニュー操作キー

READY LED	:	点灯 --- EDID データの読み込み、書き込みが可能な状態です。
		点滅 --- DVI モードの HDCP 付きのデータを出力しています。
ERROR LED	:	EDID データの読み込み失敗時に点灯します。
7-SEGMENT LED	:	メニュー番号または設定値を表示します。
SET キー	:	メニュー表示、設定値の決定を行います。
－＋キー	:	メニューの切り換え、設定値の変更を行います。

各種メニューの操作は 19 ページ以降をご覧ください。

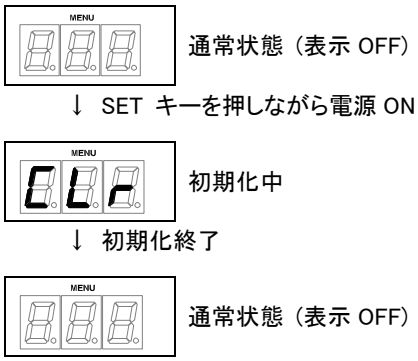
5.2 工場出荷時の設定に戻す

SET キーを押しながら電源を投入すると、各種設定を工場初期値に戻すことが可能です。(各種設定の詳細、および工場初期値は 22 ページ以降をご覧ください)

初期化中は、下図で示すように 7-SEGMENT LED が点灯します。

SET キーは 7-SEGMENT LED が消灯するまで押し続けてください。消灯後、初期化が終了し通常の動作を開始します。

なお、一度工場初期値にすると、それまで使用していた設定に戻すことはできませんのでご注意ください。



[図 5.3] 初期化(工場出荷時の設定に戻す操作)

5.3 使用時の注意事項

1) 本機の延長距離は Cat6 ケーブル使用で最大 60m となっており、最大延長距離を上回った接続を行った場合、映像や音声が途切れることがあります。また、Cat6 ケーブルの最大延長距離は、本機と接続する送信器、受信器またはシンク機器の最大延長距離の短い方の距離となります。
2) 入力電源は AC 90V～250V です。 電源投入の前に、電源電圧の確認をしてください。
3) 本機は xvYCC,Lip Sync,HEC,3D,ARC には対応していません。
4) DVI 信号の入力には DVI-I または DVI-D→ HDMI 変換ケーブルをご使用ください。(デュアルリンクには対応しておりません)。
5) CEC は INPUT 入力と[**6.19 CEC 選択**(44 ページ)]で選択した OUTPUT 出力の間においてパススルーになっております。
   本機は CEC を用いた他社対応のシステムリンク機能について動作保証するものではありません。
   実機接続にてご確認ください。
6) 本機は[**[表 5.1] デジタル音声 対応フォーマット**(19 ページ)] の音声フォーマットに対応しています。
   ただし、本機のアナログ音声出力はリニア PCM 音声のアナログ変換となります。工場出荷時の設定は 2ch リニア PCM 出力のみの設定です。
   本機のアナログ音声出力を利用せずに、そのほかの音声フォーマットを利用される場合は、内蔵 EDID を選択して希望する Audio フォーマット設定を行ったのち、ソース機器側の音声フォーマットの設定を行ってください。(詳しくは 34 ページ以降をご覧ください。)
   本機のアナログ音声出力を利用する場合は、本機の Audio フォーマット設定を行って 2ch リニア PCM を選択したのち、ソース機器側の音声フォーマットの設定を行ってください。
7) 本機は 10bit/component (30bit/pixel)と 12bit/component (36bit/pixel)に対応しています。
   本機に接続されたソース機器およびモニタなどが Deep Color に対応しているにもかかわらず、ソース機器から Deep Color 出力がされない場合は、本機の Deep Color 設定を行ったのち、ソース機器側の映像フォーマット設定を行ってください。本機の工場出荷時設定は 8bit/component (24bit/pixel)です。(詳しくは 33 ページをご覧ください。)
8) HDCP により著作権保護された DVI 信号を伝送する場合は、DVI 信号に対応した弊社ツイストペアケーブル延長器をお使いください。
9) 本機に接続されたモニタなどに、正しく映像や音声が再生されないときや、表示画面が乱れるときなどは [**8. 正常に動作しないときは**(61 ページ)] をご参照ください。

[表 5.1] デジタル音声 対応フォーマット

音声フォーマット	詳細	メディアの例
2 チャンネルリニア PCM	2ch、32 ～ 192kHz、16/20/24bit	CD、DVD-Video、DVD-Audio
マルチチャンネルリニア PCM	8ch、32 ～ 192kHz、16/20/24bit	DVD-Audio
AC-3、Dolby Digital、DTS	ビットストリーム	DVD-Video
Dolby Digital+、DTS-HD、Dolby TrueHD	ビットストリーム	HD DVD、Blu-ray Disc
AAC	ビットストリーム	地上・BS・CS デジタル放送

◆ CEC とは

CEC(Consumer Electronics Control) HDMI で規格化されている機器制御信号プロトコルのこと。
HDMI ケーブルを介して他機を制御することができます。
具体的には 1 つのリモコンで HDMI 搭載の DVD プレイヤーと HDMI ケーブル接続された HDMI 搭載のテレビを操作することができます。

◆ Deep Color とは

HDMI の映像信号処理において転送可能な色数を増やした規格です。色深度が 30bit、36bit、48bit まであり、Deep Color 対応機器を接続することで、より高精細な色再現が可能になります。本機は 30bit、36bit Deep Color に対応しています。

5.4 その他の注意事項

■本機の設置について

＜接続端子の静電気破壊に対する注意事項＞

下記の点に注意して、信号ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。

・ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続する時は、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業をしてください。

＜設置上の注意事項＞

・本機の通風孔をふさがないでください。

・本機を囲われた空間に設置しないでください。

囲われた空間に設置が必要な場合は、別途換気設備を入れてください。換気が不十分な場合、故障の要因になります。

＜STP ケーブルを使用する際の注意事項＞

・フレームグランドは、屋内配線のアース端子と接続してください。接続しない場合、シールド性能が正しく機能しません。また、UTP ケーブルを使用する際も、屋内配線のアース端子と接続することをお勧めします。

6 各種メニューの設定

6.1 メニュー操作の流れ

各種設定を行う場合は以下の手順で操作を行ってください。

手順 1:SET キーを押すと設定モードに移行します。7-SEGMENT LED にメニュー番号が表示されます。

手順 2:－＋キーで設定を行うメニュー番号を選択します。

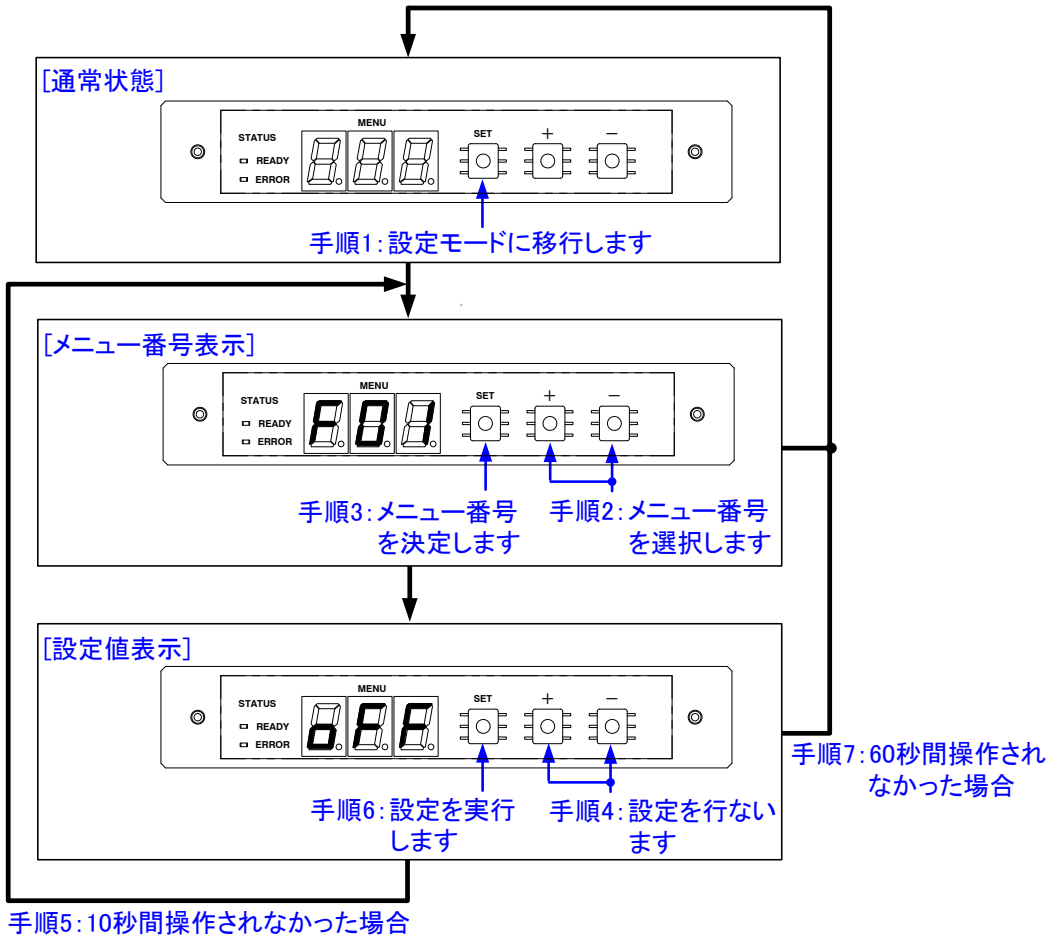
手順 3:SET キーを押し、設定を行うメニュー番号を決定します。

手順 4:7-SEGMENT LED に現在の設定値が表示されるので、－＋キーで設定を行ないます。

手順 5:10 秒間操作キーが操作されなかった場合は、手順 2 に戻ります。
なお、状態表示中は手順 2 に戻りません。

手順 6:SET キーを押すとメニュー番号の選択に戻ります。この操作を実行すると処理が終了するまでの間、ツイストペアケーブル延長器の動作を一旦停止します。処理が終了するまでの間、出力からの映像・音声が途切れます。
また、さらに設定する項目がある場合は、手順 2 以降を繰り返します。

手順 7:60 秒間メニュー操作キーが操作されなかった場合は、7-SEGMENT LED は自動的に消灯します。
再度、設定を行う場合は、手順 1 から操作を行ってください。
なお、状態表示中は 7-SEGMENT LED は消灯しません。



[図 6.1] メニュー操作の流れ

6.2 メニュー番号

1) 通常メニュー

[表 6.1] メニュー番号(通常メニュー)

種別	メニュー番号	機能	詳細ページ
入力系	F01	EDID データのコピー1	P.24
	F02	EDID データのコピー2	P.24
	F03	EDID データのコピー3	P.24
	F10	EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)	P.26
	F12	外部 EDID 設定	P.29
	F14	コピーEDID 設定	P.30
	F16	信号の無入力監視設定	P.31
	F20	Deep Color 設定	P.33
	F22	PCM Audio 設定	P.34
	F24	AC-3/Dolby Digital Audio 設定	P.35
	F26	AAC Audio 設定	P.36
	F28	Dolby Digital + Audio 設定	P.37
	F30	DTS Audio 設定	P.38
	F32	DTS-HD Audio 設定	P.39
	F34	Dolby TrueHD Audio 設定	P.40
	F36	Audio チャンネル数設定	P.41
	F38	EDID 物理アドレスコピー設定	P.43
出力系	F65	音声出力設定 HDMI OUTPUT	P.44
	F66	音声出力設定 OUTPUT1	P.44
	F67	音声出力設定 OUTPUT2	P.44
	F68	音声出力設定 OUTPUT3	P.44
	F69	音声出力設定 OUTPUT4	P.44
入力系	F75	CEC 選択	P.44
	F76	EDID WXGA 選択	P.45
その他	F90	バージョン情報表示	P.46
	F99	メンテナンス表示設定	P.47

注意:HDC-TH201 には F68、F69 のメニュー番号はありません。
HDC-TH101 には F67、F68、F69 のメニュー番号はありません。

2) メンテナンスメニュー

[表 6.2] メニュー番号(メンテナンスメニュー)

種別	メニュー番号	機能	詳細ページ
出力系	C01	強制 HDMI モード出力設定 HDC OUTPUT	P.48
	C02	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT1	P.48
	C03	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT2	P.48
	C04	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT3	P.48
	C05	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT4	P.48
入力系	C06	HDCP 設定	P.49
出力系	C10	ホットプラグ オフ マスク設定	P.50
	C55	強制カラー変換モード出力設定 HDC OUTPUT	P.51
	C56	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT1	P.51
	C57	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT2	P.51
	C58	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT3	P.51
	C59	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT4	P.51

注意:HDC-TH201 には C04、C05、C58、C59 のメニュー番号はありません。
HDC-TH101 には C03、C04、C05、C57、C58、C59 のメニュー番号はありません。

3) 状態表示メニュー

[表 6.3] メニュー番号(状態表示メニュー)

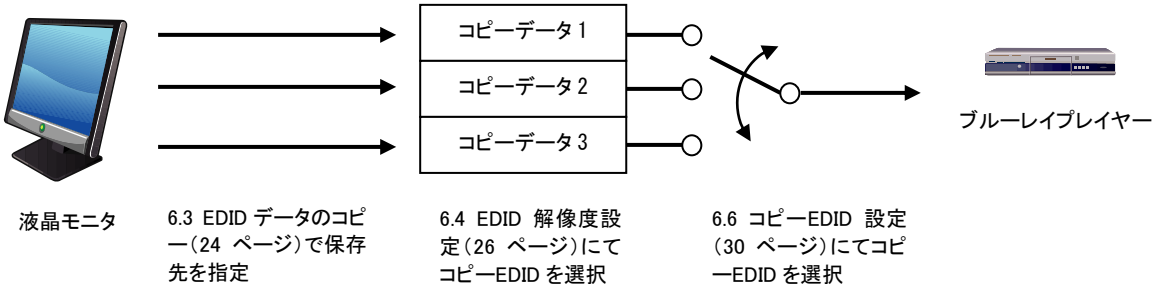
メニュー番号	機能	詳細ページ
L01～L69	状態表示	P.52

6.3 EDID データのコピー

表示機器の EDID データを読み取り、本機に記憶します。

本機が何らかの理由により、接続している表示機器の EDID を使用できないときに、または他の表示機器の EDID データをコピーする場合などに使用してください。既に EDID データが保存されている場合、データは上書きされます。

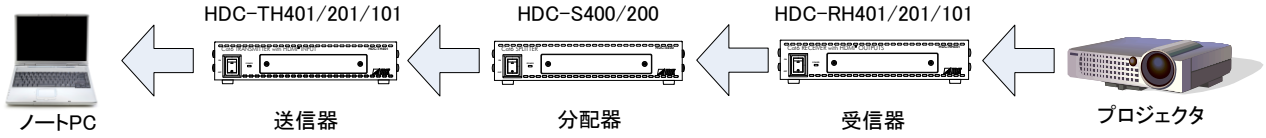
なお、コピーした EDID データを使用する場合は、[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)]にてコピーEDID を選択し、[**6.6 コピーEDID 設定**(30 ページ)]で使用するコピーデータ番号を設定してください。EDID データは 3 つまで保存できます。既に EDID データが保存されている場合、データは上書きされます。



[図 6.2] EDID データのコピーと保存先

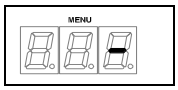
注意:本器を下図のように接続した場合、ソース機器が読み込む EDID データは、HDC-THx01(送信器)の EDID データです。HDC-THx01(送信器)は HDC-Sx00(分配器)から、HDC-Sx00(分配器)は HDC-RHx01(受信器)から、HDC-RHx01 はシンク機器の EDID データを読み込みます。

そのため、シンク機器の EDID データをソース機器に読み込ませる場合は、HDC-RHx01(受信器)でシンク機器の EDID データをコピーし、[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)]でコピーEDID を選択したあとに、HDC-Sx00(分配器)で HDC-RHx01(受信器)の EDID データをコピーして[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)] でコピーEDID を選択したあとに、HDC-THx01(送信器)で HDC-Sx00(分配器)の EDID データをコピーして[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)] でコピーEDID を選択または、外部 EDID に設定してください。



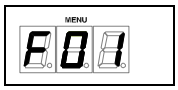
[図 6.3] EDID データの読み込み

・メニューによる設定



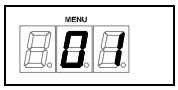
通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー



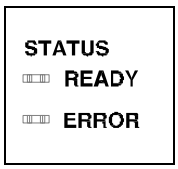
－＋キー　EDID コピーデータ 1→F01 を選択
EDID コピーデータ 2→F02 を選択、EDID コピーデータ 3→F03 を選択

↓ SET キー



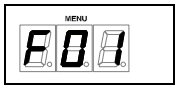
－＋キー　コピー先の出力コネクタを選択（初期値は 01: HDMI OUTPUT）
HDMI OUTPUT→01、OUTPUT1→02、OUTPUT2→03、OUTPUT3→04、
OUTPUT4→05
※HDC-TH201 は 04、05 を選択することはできません。
※HDC-TH101 は 03、04、05 を選択することはできません。

↓ SET キー



EDID のコピーが終了するまで READY LED が消灯し、コピーが終了すると緑色に点灯します。
接続ミスや、データの読み取りおよび、書き込みに失敗した場合、データにチェックサムエラーがある場合は ERROR LED が赤色に点灯します。その際は接続状態を再確認して EDID コピーデータの読み込みを行ってください。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)

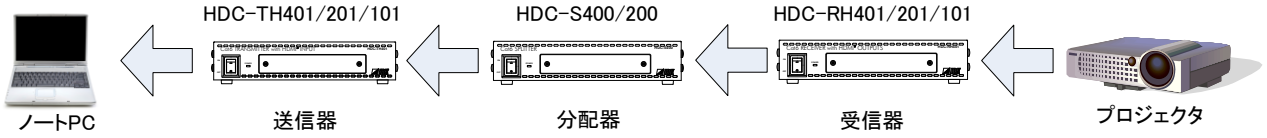
HDMI入力端子に接続されたソース機器に対して本機が送信するEDIDデータを設定します。

EDID設定番号 3～22 を選択した場合、本機の内蔵EDIDを設定します。

そのほか、[**6.3 EDIDデータのコピー**(24ページ)] で取得したEDIDと、出力コネクタに接続されたモニタなどシンク機器のEDIDを読み込んで使う外部EDIDが選択できます。

EDID設定番号の設定内容詳細は[**[表 6.4] EDID最大解像度**(27ページ)]を参照ください。

注意:ソース機器が読み込む EDID データは、HDC-THx01(送信器)の EDID データです。
そのため、HDC-Sx00(分配器)、HDC-RHx01(受信器)の設定を行っても、ソース機器は EDID データを読み込めません。



[図 6.4] EDID データの読み込み

1) 解像度設定番号 1 (外部EDID)
外部EDIDが選択されます。EDIDデータを取得するHDMI出力コネクタは[**6.5 外部EDID設定**(29ページ)]にて選択できます。

2) 解像度設定番号 2 (コピーデータ)
[**6.3 EDID データのコピー**(24 ページ)] で取得した EDID を選択します。
EDID コピーデータ 1～3 の選択は[**6.6 コピーEDID 設定**(30 ページ)]で行います。

3) 解像度設定番号 3～6 (TVなど、HDMI機器用内蔵EDID)
ハイビジョン液晶テレビなどに用いられるCEA-861E規格のハイビジョン信号と同等タイミングのEDIDを設定します。

4) 解像度設定番号 7～22 (パソコンなど、DVI機器用内蔵EDID)
パソコンなどのDVI機器を接続した場合に用います。VESA DMT規格またはVESA CVT規格に準拠したタイミグです。1600x900、1920x1200、VESA1080、2048x1152はReduced Blankingになります。

◆ EDID について

通常、ソース機器(ブルーレイプレーヤーやパソコンなど)とシンク機器(液晶ディスプレイなど)を直接接続して電源を入れると、ソース機器はシンク機器が入力することのできる信号周波数の範囲などの情報を問い合わせて、そのデータを取得します。(パソコンでは、この一連の動きをプラグアンドプレイといいます。)これら情報はEDIDに書き込まれています。

本設定メニューでは、ソース機器からの問合わせに対して本機が送信するEDIDデータを設定します。

設定するデータは、本機にあらかじめ登録された内蔵データ、または本機のOUTPUTコネクタに接続された表示機器から読み取ったデータから選択することが可能です。

EDID設定番号 3～22 のEDIDは、使用可能な最大解像度で設定しますが、最大解像度以下の解像度にも対応しています。最大解像度以下の解像度の情報は[**[表 6.5] 対応解像度** (28ページ)]を参照ください。
接続するパソコンから出力する解像度に対応したものを選択してください。

[表 6.4] EDID 最大解像度

設定番号	設定値(解像度)	画素数	規格	備考
1	EXTERNAL(外部 EDID)	-	-	取得データがない場合初期値 3 を設定
2	コピーデータ	-	-	取得データがない場合初期値 3 を設定
3	1080p(59.94/60)	(1920×1080)	HDTV	※初期値
4	720p	(1280×720)	HDTV	
5	1080i	(1920×1080)	HDTV	
6	1080p(24/25/30/50)	(1920×1080)	HDTV	
7	SVGA	(800×600)	VESA	
8	XGA	(1024×768)	VESA	
9	VESA720p	(1280×720)	CVT	(DVI 機器入力用)
10	WXGA	(1280×768)	VESA	
11	WXGA	(1280×800)	VESA	(MAC 対応)
12	Quad-VGA	(1280×960)	VESA	
13	SXGA	(1280×1024)	VESA	
14	WXGA	(1360×768) (1366×768)	VESA	**6.20 EDID WXGA 選択** (45 ページ)で設定した解像度が有効となります
15	SXGA+	(1400×1050)	VESA	
16	WXGA+	(1440×900)	VESA	
17	WXGA++	(1600×900)	VESA	(Reduced Blanking)
18	UXGA	(1600×1200)	VESA	
19	WSXGA+	(1680×1050)	VESA	
20	VESA1080	(1920×1080)	CVT	(DVI 機器入力用) (Reduced Blanking)
21	WUXGA	(1920×1200)	VESA	(Reduced Blanking)
22	QWXGA	(2048×1152)	VESA	(Reduced Blanking)

※設定番号 17、20、21、22 は Reduced Blanking のみ対応

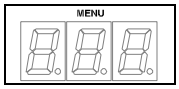
[表 6.5] 対応解像度

入力 解像度設定 ＼ 対応解像度		640 x 480	800 x 600	1024 x 768	1280 x 720	1280 x 768	1280 x 800	1280 x 960	1280 x 1024	1360 x 768 ※	1366 x 768 ※	1400 x 1050	1440 x 900	1600 x 900	1600 x 1200	1680 x 1050	1920 x 1080	1920 x 1200	2048 x 1152
3	1080p(59.94p、60p)	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
4	720p	○	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
5	1080i	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
6	1080p(24p、25p、30p、50p)	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
7	800x600	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
8	1024x768	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
9	1280x720	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
10	1280x768	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
11	1280x800	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
12	1280x960	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
13	1280x1024	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
14	1360x768	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
15	1400x1050	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×
16	1440x900	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
17	1600x900	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×
18	1600x1200	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×
19	1680x1050	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
20	1920x1080	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
21	1920x1200	○	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×
22	2048x1152	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○

○ : 対応可　× : 対応不可

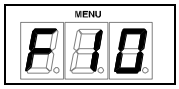
※　1360×768 または 1366×768 の解像度は、[**6.20 EDID WXGA 選択**(45 ページ)]で設定した解像度が有効となります。初期値は 1360×768 です。

・メニューによる設定



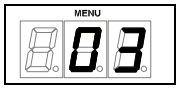
通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー



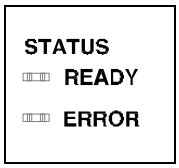
－＋キー　INPUT の EDID を設定→F10 を選択

↓ SET キー



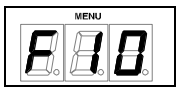
－＋キー　設定したい EDID の EDID 設定番号を選択（初期値は 3: 1080p）

↓ SET キー



EDID の設定が終了するまで READY LED が消灯し、設定が終了すると緑色に点灯します。
外部 EDID を選択した場合に、接続ミスや、データの読み取りおよび書き込みに失敗した場合、データにチェックサムエラーがある場合は ERROR LED が赤色に点灯します。
その際は接続状態を再確認して解像度設定を行ってください。

↓



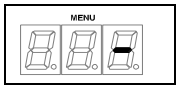
処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.5 外部 EDID 設定

[**6.4 EDID解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26ページ)]にて、EDID種別を外部EDIDに設定した際に、読み込みを行う出力コネクタを設定します。

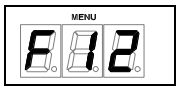
EDID種別を外部EDIDに設定する前に本メニューを実行する必要があります。

・メニューによる設定



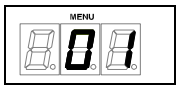
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



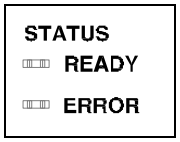
－＋キー　INPUT の外部 EDID を設定→F12 を選択

↓ SET キー



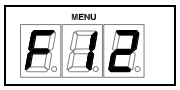
－＋キー　読み込み先の出力コネクタを選択(初期値は 01: HDMI OUTPUT)
HDMI OUTPUT→01、OUTPUT1→02、OUTPUT2→03、OUTPUT3→04、
OUTPUT4→05
※HDC-TH201 は 04、05 を選択することはできません。
※HDC-TH101 は 03、04、05 を選択することはできません。

↓ SET キー



接続ミスや、データの読み取りおよび、書き込みに失敗した場合、データにチェックサムエラーがある場合は ERROR LED が赤色に点灯します。
その際は接続状態を再確認して EDID 種別設定を行ってください。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

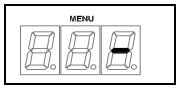
6.6 コピーEDID 設定

［**6.4 EDID解像度設定（外部／コピー／内蔵）**（26ページ）］にて、EDID種別をコピーEDIDに設定した際に読み込みを行う、コピーデータ番号を設定します。

コピーデータ番号は［**6.3 EDID データのコピー**（24 ページ）］で取得したデータです。

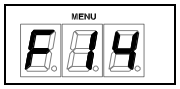
［**6.4 EDID解像度設定（外部／コピー／内蔵）**（26ページ）］にてコピーEDIDを選択することで、コピーしたEDIDデータを使用することができます。

・メニューによる設定



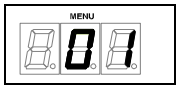
通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー



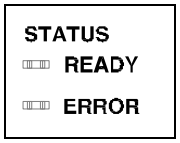
－＋キー　INPUT のセーブ EDID を設定→F14 を選択

↓ SET キー



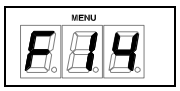
－＋キー　コピーデータ番号（初期値は 01）
コピーデータ番号 1（F01 でコピーしたデータ）→01
コピーデータ番号 2（F02 でコピーしたデータ）→02
コピーデータ番号 3（F03 でコピーしたデータ）→03

↓ SET キー



接続ミスや、データの読み取りおよび、書き込みに失敗した場合、データにチェックサムエラーがある場合は ERROR LED が赤色に点灯します。
その際は接続状態を再確認して EDID 種別設定を行ってください。

↓

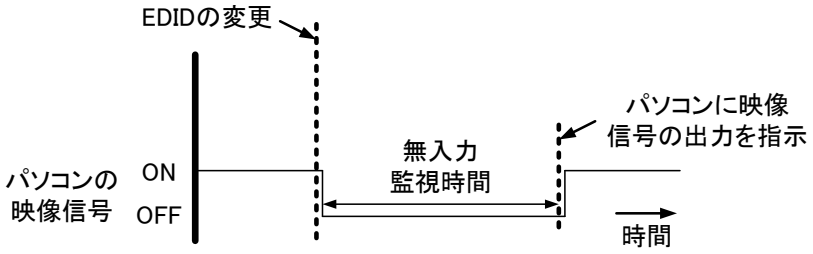


処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.7 信号の無入力監視設定

本機に接続されたHDMI機器またはDVI機器などのソース機器の電源が入っているときに、EDIDの設定を変更したり、本機の電源をOFF/ONすると、ごく一部のソース機器は信号を出力しなくなる場合があります。この場合、本機はソース機器に対して信号を出力するように指示を出すことが可能です。本メニューでは、ソース機器が信号を出力しなくなってから本機が信号を出力するように指示を出すまでの時間を設定します。

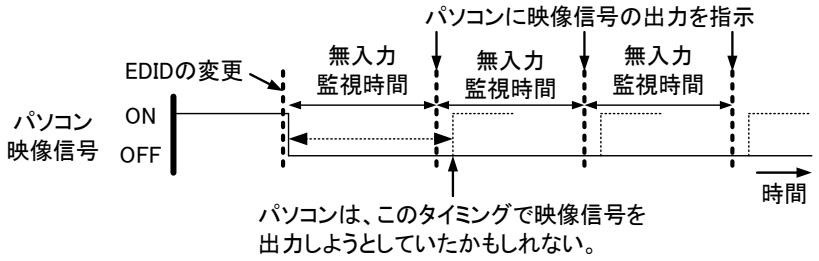
・無入力監視時間 （ OFF、2 ～ 15 秒 ※初期値 10 秒）



[パソコンが映像信号を出力しなくなった場合]

[図 6.5] 無入力の監視

注意 1:本機がパソコンに対して映像信号を出力するように指示を出すと、パソコンは映像信号の出力をリセットします。設定時間が短いと、パソコンが映像信号の出力をリセットする動作を繰り返してしまい、映像が出力されなくなる場合があります。

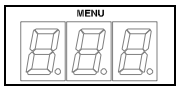


[図 6.6] リセットの繰り返し

注意 2:パソコンの「モニタの省電力機能」と無入力の監視機能を同時に使用すると、モニタの省電力機能が働いた後、本メニューで設定した時間を経過すると、再度パソコンが映像を出力する場合があります。パソコンの「モニタの省電力機能」を使用する場合は、無入力の監視機能を OFF に設定してください。

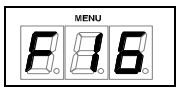
注意 3:パソコンを「デュアルモニタ」で使用しているときに本機能が働くと、パソコンはモニタが接続されていないと判断して、自動的に「デュアルモニタ」を解除する場合があります。この場合は、無入力の監視機能を OFF に設定してください。

・メニューによる設定



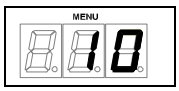
通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー



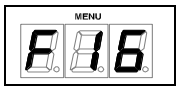
－＋キー　INPUT の信号の無入力監視設定→F16 を選択

↓ SET キー



－＋キー　無入力監視時間を選択（初期値は 10: 10 秒）
OFF、2～15: 2 秒～15 秒

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.8 Deep Color 設定

ソース機器から出力する Deep Color (色深度)を設定します。

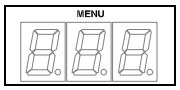
本設定は、対応するソース機器とシンク機器を接続し、[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)]にて、“EDID 設定番号 3～22(内蔵 EDID)”を選択された場合に有効になります。

本機の INPUT コネクタに接続されたブルーレイプレーヤーなどのソース機器および OUTPUT コネクタに接続されたモニタなどシンク機器が Deep Color に対応している場合、本メニューの設定によりソース機器の Deep Color 出力が可能になります。

本機は 10bit/component (30bit/pixel)と 12bit/component (36bit/pixel)の Deep Color に対応しています。工場出荷時設定は 8bit/component (24bit/pixel)です。

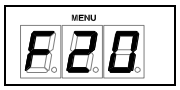
注意：設定を 10bit/component (30bit/pixel)、12bit/component (36bit/pixel)にした場合、伝送クロックが高速になるため、品質の悪いケーブルや長いケーブルを接続した場合に、映像にノイズが入ることがあります。この場合は、8bit/component (24bit/pixel)に設定することにより症状が改善される場合があります。

・メニューによる設定



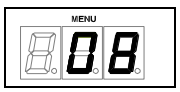
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



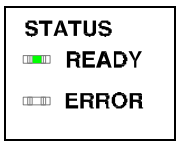
－＋キー　INPUT の Deep Color 設定→F20 を選択

↓ SET キー



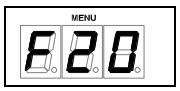
－＋キー　Deep Color 設定 (初期値は 8bit/component (24bit/pixel))
08: 8bit/component (24bit/pixel)、
10: 10bit/component (30bit/pixel)、
12: 12bit/component (36bit/pixel)

↓



Deep Color の設定が終了するまで READY LED が消灯し、設定が終了すると緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

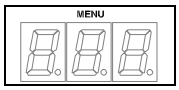
6.9 PCM Audio 設定

ソース機器から出力する PCM Audio の設定をします。なお、HDMI 規格上、出力は OFF にできません。

本設定は、対応するソース機器とシンク機器を接続し、[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)]にて、“EDID 設定番号 3～22(内蔵 EDID)”を選択された場合に有効になります。

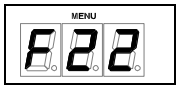
注意:本設定は、液晶モニタなどでは対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

・メニューによる設定



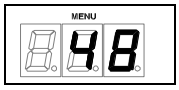
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



－＋キー　INPUT の PCM Audio 設定→F22 を選択

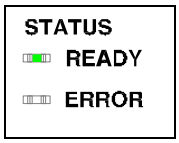
↓ SET キー



－＋キー　PCM Audio 設定 (初期値は 48: 48 kHz)

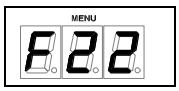
32: 32 kHz　44: 44.1 kHz　48: 48 kHz　88: 88.2 kHz　96: 96 kHz　192: 192 kHz

↓



PCM Audio の設定が終了するまで READY LED が消灯し、設定が終了すると緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.10 AC-3/Dolby Digital Audio 設定

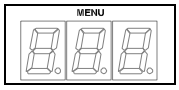
ソース機器から出力する AC-3/Dolby Digital Audio の設定をします。

本設定は、対応するソース機器とシンク機器を接続し、[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)]にて、“EDID 設定番号 3～22(内蔵 EDID)”を選択された場合に有効になります。

注意 1:本設定は、液晶モニタなどでは対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

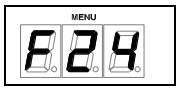
注意 2:本機のアナログ音声出力コネクタからは音声は出力されません。

・メニューによる設定



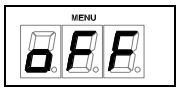
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



－＋キー　INPUT の AC-3/Dolby Digital Audio 設定→F24 を選択

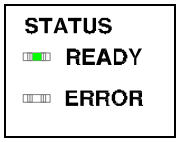
↓ SET キー



－＋キー　AC-3/Dolby Digital Audio　設定 (初期値は OFF)

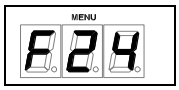
OFF　32: 32 kHz　44: 44.1 kHz　48: 48 kHz

↓



AC-3/Dolby Digital Audio の設定が終了するまで READY LED が消灯し、設定が終了すると緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.11 AAC Audio 設定

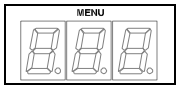
ソース機器から出力する AAC Audio の設定をします。

本設定は、対応するソース機器とシンク機器を接続し、[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)]にて、“EDID 設定番号 3～22(内蔵 EDID)”を選択された場合に有効になります。

注意 1:本設定は、液晶モニタなどでは対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

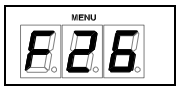
注意 2:本機のアナログ音声出力コネクタからは音声は出力されません。

・メニューによる設定



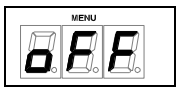
通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー



－＋キー　INPUT の AAC Audio 設定→F26 を選択

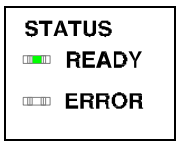
↓ SET キー



－＋キー　AAC Audio　設定（初期値は OFF ）

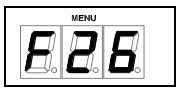
OFF　32: 32 kHz　44: 44.1 kHz　48: 48 kHz　88: 88.2 kHz　96: 96kHz

↓



AAC Audio の設定が終了するまで READY LED が消灯し、設定が終了すると緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.12 Dolby Digital + Audio 設定

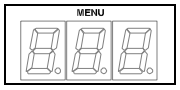
ソース機器から出力する Dolby Digital + Audio の設定をします。

本設定は、対応するソース機器とシンク機器を接続し、[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)]にて、“EDID 設定番号 3～22(内蔵 EDID)”を選択された場合に有効になります。

注意 1:本設定は、液晶モニタなどでは対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

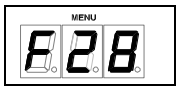
注意 2:本機のアナログ音声出力コネクタからは音声は出力されません。

・メニューによる設定



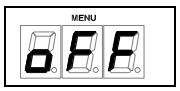
通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー



－＋キー　INPUT の Dolby Digital + Audio 設定→F28 を選択

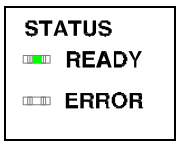
↓ SET キー



－＋キー　Dolby Digital + Audio　設定（初期値は OFF ）

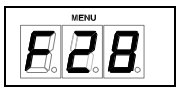
OFF　32: 32 kHz　44: 44.1 kHz　48: 48 kHz

↓



Dolby Digital + Audio の設定が終了するまで READY LED が消灯し、設定が終了すると緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.13 DTS Audio 設定

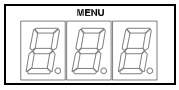
ソース機器から出力する DTS Audio の設定をします。

本設定は、対応するソース機器とシンク機器を接続し、[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)]にて、“EDID 設定番号 3～22(内蔵 EDID)”を選択された場合に有効になります。

注意 1:本設定は、液晶モニタなどでは対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

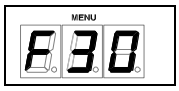
注意 2:本機のアナログ音声出力コネクタからは音声は出力されません。

・メニューによる設定



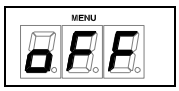
通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー



－＋キー　INPUT の DTS Audio 設定→F30 を選択

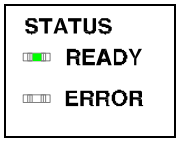
↓ SET キー



－＋キー　DTS Audio　設定（初期値は OFF ）

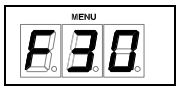
OFF　32: 32 kHz　44: 44.1 kHz　48: 48 kHz　96: 96kHz

↓



DTS Audio の設定が終了するまで READY LED が消灯し、設定が終了すると緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.14 DTS-HD Audio 設定

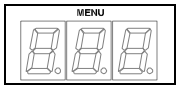
ソース機器から出力する DTS-HD Audio の設定をします。

本設定は、対応するソース機器とシンク機器を接続し、[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)]にて、“EDID 設定番号 3～22(内蔵 EDID)”を選択された場合に有効になります。

注意 1:本設定は、液晶モニタなどでは対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

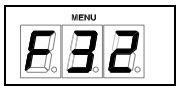
注意 2:本機のアナログ音声出力コネクタからは音声は出力されません。

・メニューによる設定



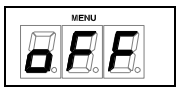
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



－＋キー　INPUT の DTS-HD Audio 設定→F32 を選択

↓ SET キー

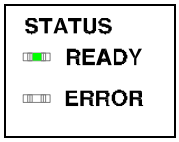


－＋キー　DTS-HD Audio　設定（初期値は OFF ）

OFF　44: 44.1 kHz　48: 48 kHz　88: 88.2 kHz　96 96kHz

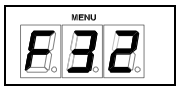
176: 176.4 kHz　192: 192 kHz

↓



DTS-HD Audio の設定が終了するまで READY LED が消灯し、設定が終了すると緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.15 Dolby TrueHD Audio 設定

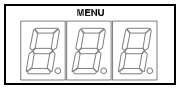
ソース機器から出力する Dolby TrueHD Audio の設定をします。

本設定は、対応するソース機器とシンク機器を接続し、[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)]にて、“EDID 設定番号 3～22(内蔵 EDID)”を選択された場合に有効になります。

注意 1:本設定は、液晶モニタなどでは対応できない音声フォーマットがあります。お使いの機器が対応している音声フォーマットおよびサンプリング周波数を選択してください。

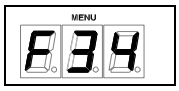
注意 2:本機のアナログ音声出力コネクタからは音声は出力されません。

・メニューによる設定



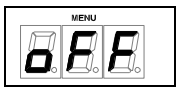
通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー



－＋キー　INPUT の Dolby TrueHD Audio 設定→F34 を選択

↓ SET キー

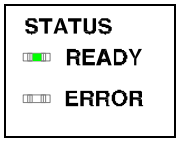


－＋キー　Dolby TrueHD Audio　設定（初期値は OFF ）

OFF　44: 44.1 kHz　48: 48 kHz　88: 88.2 kHz　96: 96kHz

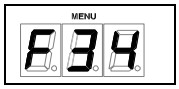
176: 176.4 kHz　192: 192 kHz

↓



Dolby TrueHD Audio の設定が終了するまで READY LED が消灯し、設定が終了すると緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.16 Audio チャンネル数設定

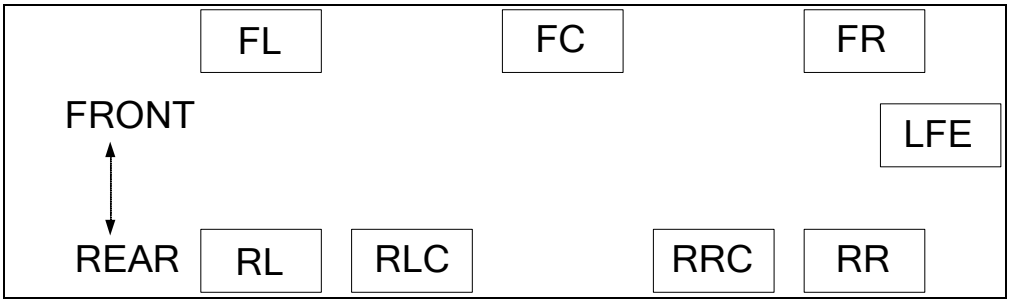
ソース機器からマルチチャンネルの音声を出力する場合のチャンネル数の設定をします。

本設定は、対応するソース機器とシンク機器を接続し、[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)]にて、“EDID 設定番号 3～22(内蔵 EDID)”を選択された場合に有効になります。

注意:Audio チャンネル数を設定すると、以下のスピーカー構成で音声が出力されます。

[表 6.6] チャンネル数とスピーカー構成

スピーカ数	FR/FL	LFE	FC	RL/RR	RLC/ RRC
2ch	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
3(2.1)ch	ON	ON	OFF	OFF	OFF
6(5.1)ch	ON	ON	ON	ON	OFF
8(7.1)ch	ON	ON	ON	ON	ON

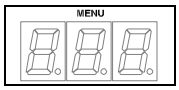


[図 6.7] チャンネル数とスピーカー構成

[表 6.7] スピーカー配置

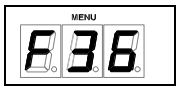
名称	位置
FL	Front Left
FC	Front Center
FR	Front Right
RL	Rear Left
RR	Rear Right
RLC	Rear Left Center
RRC	Rear Right Center
LFE	Low Frequency Effect

・メニューによる設定



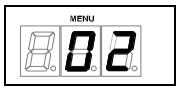
通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー



－＋キー　INPUT のチャンネル数設定→F36 を選択

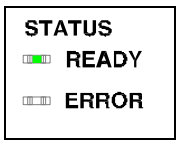
↓ SET キー



－＋キー　チャンネル数設定（初期値は 2: 2ch ）

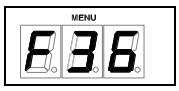
2: 2ch　3: 3 (2.1)ch　6: 6 (5.1)ch　8: 8 (7.1)ch

↓



Audio チャンネル数の設定が終了するまで READY LED が消灯し、設定が終了すると緑色に点灯します。

↓



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.17 EDID 物理アドレスコピー設定

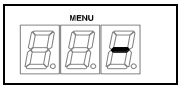
EDID 物理アドレスのコピーを設定します。

本設定は、対応するソース機器とシンク機器を接続し、[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)]にて、“EDID 設定番号 3～22(内蔵 EDID)”を選択された場合に有効になります。

[**6.19 CEC 選択**(44 ページ)]にて選択した OUTPUT コネクタに接続されたモニタの EDID 物理アドレスをコピーして INPUT の EDID データにコピーします。

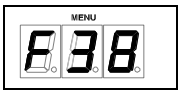
CEC 機能は EDID 物理アドレスに対して接続が行われるために接続されているモニタの EDID 物理アドレスと本機の EDID 物理アドレスが違っている場合には CEC 機能が正しく動作しないことがあります。本設定で EDID 物理アドレスをコピーすることで EDID 物理アドレスが正しく設定されます。

・メニューによる設定



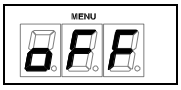
通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー



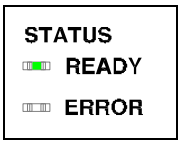
－＋キー　INPUT の EDID 物理アドレスコピー 設定→F38 を選択

↓ SET キー



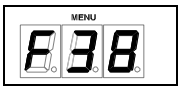
－＋キー　EDID 物理アドレスコピー 設定（初期値は OFF ）
OFF:EDID 物理アドレスコピーOFF　ON:EDID 物理アドレスコピーON

↓



EDID 物理アドレスコピーの設定が終了するまで READY LED が消灯し、設定が終了すると緑色に点灯します。

↓

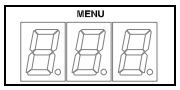


処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.18 音声出力設定

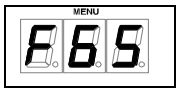
出力コネクタからの音声出力のON/OFFを設定します。
各出力ごとに設定できます。

・メニューによる設定



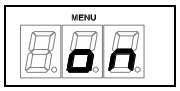
通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー



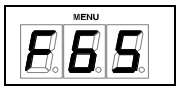
－＋キー　設定する出力コネクタを選択
HDMI OUTPUT→F65 を選択、OUTPUT1→F66 を選択、OUTPUT2→F67 を選択、
OUTPUT3→F68 を選択、OUTPUT4→F69 を選択
※HDC-TH201 はメニューF68、F69 を選択することは出来ません。
※HDC-TH101 はメニューF67、F68、F69 を選択することは出来ません。

↓ SET キー



－＋キー　音声出力の ON/OFF を選択（初期値は音声出力 ON）
OFF：音声出力 OFF　ON：音声出力 ON

↓ SET キー

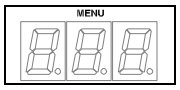


処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.19 CEC 選択

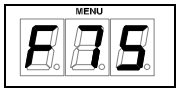
INPUTコネクタに接続されたソース機器に対して、どのOUTPUTコネクタに接続されたモニタとCEC機能の動作を行うかを設定します。

・メニューによる設定



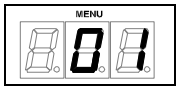
通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー



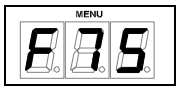
－＋キー　CEC 接続設定→F75 を選択

↓ SET キー



－＋キー　CEC を行う出力コネクタを選択（初期値は 01: HDMI OUTPUT）
HDMI OUTPUT→01、OUTPUT1→02、OUTPUT2→03、OUTPUT3→04、
OUTPUT4→05、OFF→未接続
※HDC-TH201 は 04、05 を選択することはできません。
※HDC-TH101 は 03、04、05 選択することはできません。

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.20 EDID WXGA 選択

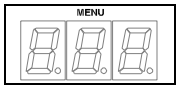
[**6.4 EDID解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26ページ)]にて「14」(WXGA 1360×768)の解像度を設定した場合、本メニューにて1360×768か1366×768のどちらの画素数を有効にするかを設定します。

また、1360×768の画素数が最大画素数以下に含まれている場合、下記表のEDIDに対しても本メニューの設定は有効となります。設定が有効となる解像度は以下の通りとなります。

[表 6.8] WXGA 有効 EDID 設定値

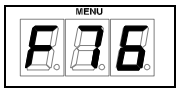
設定番号	設定値(解像度)	画素数	規格	備考
3	1080p(59.94/60)	(1920×1080)	HDTV	※初期値
6	1080p(24/25/30/50)	(1920×1080)	HDTV	
14	WXGA	(1360×768) (1366×768)	VESA	
15	SXGA+	(1400×1050)	VESA	
16	WXGA+	(1440×900)	VESA	
17	WXGA++	(1600×900)	VESA	(Reduced Blanking)
18	UXGA	(1600×1200)	VESA	
19	WSXGA+	(1680×1050)	VESA	
20	VESA1080	(1920×1080)	CVT	(DVI 機器入力用) (Reduced Blanking)

・メニューによる設定



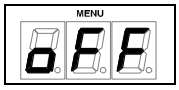
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



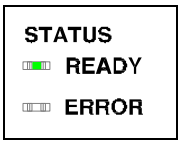
－＋キー　INPUT の EDID WXGA 設定→F76 を選択

↓ SET キー



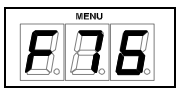
－＋キー　有効とする画素数を選択(初期値は OFF: 1360×768)
OFF:1360×768　ON:1366×768

↓



EDID WXGA の設定が終了するまで READY LED が消灯し、設定が終了すると緑色に点灯します。

↓

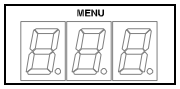


処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.21 バージョン情報表示

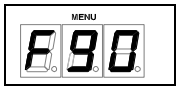
本機のファームウェアバージョンを表示します。

・メニューによる設定



通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー

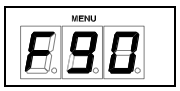


－＋キー　ファームウェアバージョン表示→F90 を選択

↓ SET キー

ファームウェアバージョン表示 （本例: 1.00）

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.22 メンテナンス表示設定

メンテナンスメニューの表示を設定します。
メンテナンスメニューは通常は表示されませんが、本設定にて表示することが可能です。
通常は操作の必要はありませんので設定する必要はありません。

1) メンテナンスメニュー

[表 6.9] メニュー番号(メンテナンスメニュー)

種別	メニュー番号	機能	詳細ページ
出力系	C01	強制 HDMI モード出力設定 HDC OUTPUT	P.48
	C02	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT1	P.48
	C03	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT2	P.48
	C04	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT3	P.48
	C05	強制 HDMI モード出力設定 OUTPUT4	P.48
入力系	C06	HDCP 設定	P.49
出力系	C10	ホットプラグ オフ マスク設定	P.50
	C55	強制カラー変換モード出力設定 HDC OUTPUT	P.51
	C56	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT1	P.51
	C57	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT2	P.51
	C58	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT3	P.51
	C59	強制カラー変換モード出力設定 OUTPUT4	P.51

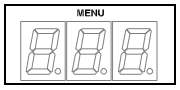
注意:HDC-TH201 には C04、C05、C58、C59 のメニュー番号はありません。
HDC-TH101 には C03、C04、C05、C57、C58、C59 のメニュー番号はありません。

2) 状態表示メニュー

[表 6.10] メニュー番号(状態表示メニュー)

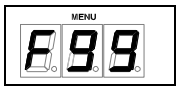
メニュー番号	機能	詳細ページ
L01～L69	状態表示	P.52

・メニューによる設定



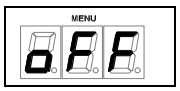
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



－＋キー　メンテナンスメニュー表示→F99 を選択

↓ SET キー



－＋キー　メンテナンスメニュー表示を選択 (初期値は OFF)
OFF:非表示 / ON:表示(次回起動時は OFF) / ALL:表示(次回起動時も ON)

↓ SET キー

処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.23 強制 HDMI モード出力設定

強制 HDMI モードを設定します。

本メニューは[**6.22 メンテナンス表示設定** (47 ページ)] を ON に設定した場合に表示されます。

本機の送信部は、接続されているシンク機器が入力することのできる信号を知るためにシンク機器の EDID データを取得します。取得した内容に従って送信部は、接続されているシンク機器が HDMI モニタであるか、DVI モニタであるかを判断致します。

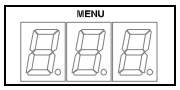
何らかの問題で、EDID が取得できない状態の場合は、本機は接続機器の判定ができません。この場合、もし接続機器が HDMI モニタである場合、音声が出ないなどの問題が発生する可能性があります。

本メニューにて、強制 HDMI モードを ON に設定すると、本機が EDID を取得できない状態に陥ってしまった場合、接続先を HDMI として本機送信部が動作します。ただし、本メニューは EDID が取得できない異常時に用いる機能ですので、通常は設定する必要はありません。

本設定を強制 HDMI モードで使用する場合には[**6.4 EDID 解像度設定(外部／コピー／内蔵)**(26 ページ)] の設定を「外部 EDID」設定で使用せずに接続するモニタの解像度に対応した EDID を設定してください。

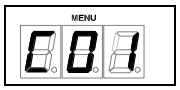
各出力ごとに設定できます。

・メニューによる設定



通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



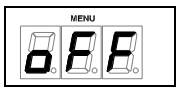
－＋キー　設定する出力コネクタを選択

HDMI OUTPUT→C01 を選択、OUTPUT1→C02 を選択、OUTPUT2→C03 を選択、OUTPUT3→C04 を選択、OUTPUT4→C05 を選択

※HDC-TH201 はメニューC04、C05 を選択することは出来ません。

※HDC-TH101 はメニューC03、C04、C05 を選択することは出来ません。

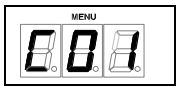
↓ SET キー



－＋キー　強制 HDMI モードを選択 (初期値は OFF)

OFF:通常動作 / ERR:EDID 取得エラー時 HDMI 出力 / ALL:常時 HDMI 出力

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

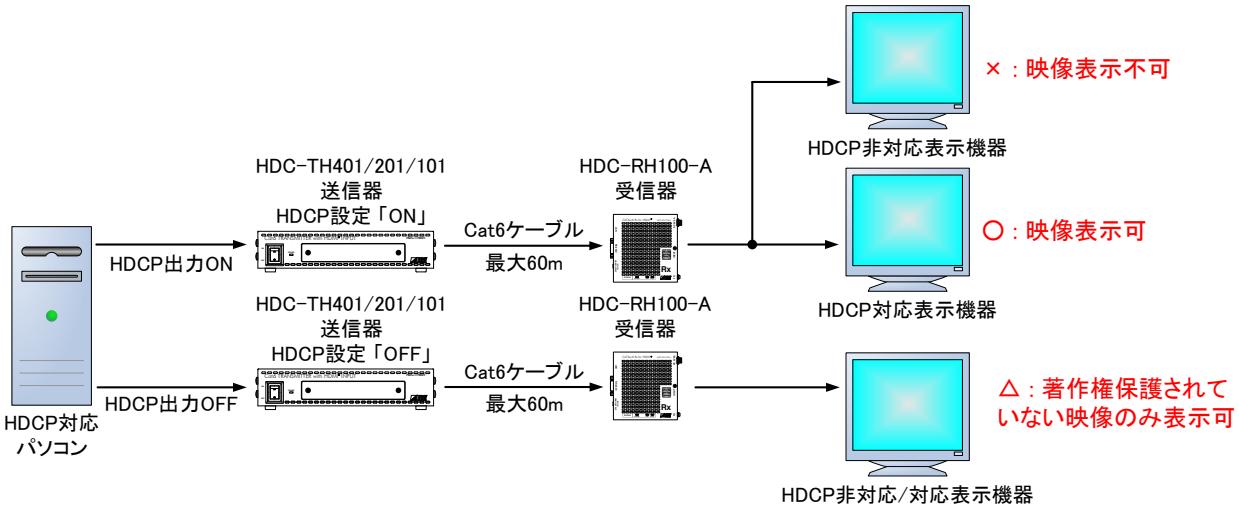
6.24 HDCP 設定

HDCP の対応を設定します。

本メニューは[**6.22 メンテナンス表示設定** (47 ページ)] を ON に設定した場合に表示されます。

一部のソース機器は、接続されるシンク機器がHDCPに対応しているかどうかを判断してHDCP出力のON/OFFを決定するものがあります。本機はHDCPに対応しているため、HDCPに対応していないシンク機器と組み合わせた場合、シンク機器に映像を表示できない場合があります。

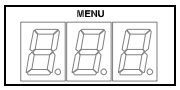
本メニューではソース機器に対して HDCP 出力を許可するかどうかを設定します。通常は「ON」に設定しますが、HDCP に対応していないシンク機器を接続する場合は「OFF」に設定すれば、ソース機器からの HDCP 出力を禁止することが可能です。



[図 6.8]パソコンと HDCP 対応/非対応表示機器との関係

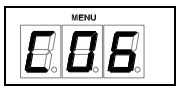
注意 1:ブルーレイディスクプレーヤーなどを接続しているときに「OFF」に設定すると全く映像を出力しなくなる場合があります。これはブルーレイディスクプレーヤーが HDCP に対応していない機器との接続を許可していないためで、この場合は「ON」に設定し HDCP に対応したシンク機器を接続してください。
また「OFF」に設定し映像を出力できる場合でも、著作権保護されたコンテンツ(映画や音楽ビデオなど)を再生することはできません。

・メニューによる設定



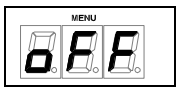
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



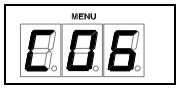
－＋キー　INPUT 設定→C06 を選択

↓ SET キー



－＋キー　RX HDCP 設定を選択 (初期値は ON)
OFF:HDCP 非対応 / ON:HDCP 対応

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.25 ホットプラグ オフ マスク設定

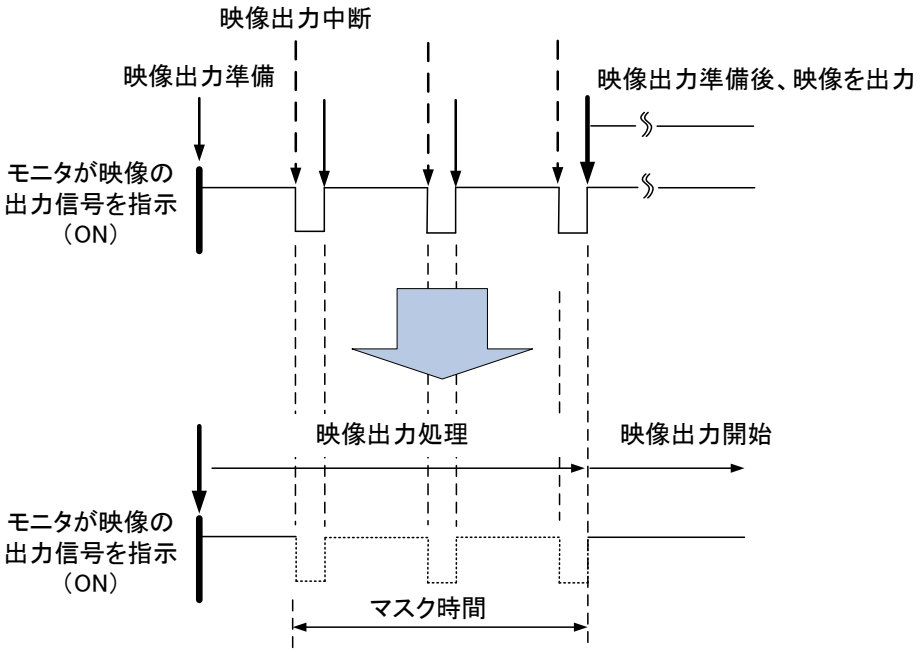
ホットプラグ監視のマスク時間を設定します。

本メニューは[**6.22 メンテナンス表示設定** (47 ページ)] を ON に設定した場合に表示されます。

DVI や HDMI 機器は、接続の検知にホットプラグ信号を検知して接続先の変更を認識しています。

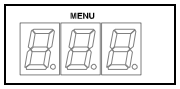
映像信号の無入力監視機能(本機の[**6.7 信号の無入力監視設定** (31 ページ)] と同様の機能)を有するモニタと接続時に、モニタ側が映像信号の出力指示(ホットプラグの ON/OFF)を短い周期で繰り返された場合に本機側で接続動作を繰り返すことになり、映像出力までに時間がかかることがあります。

この時間を回避するため、本メニューでは、ホットプラグオフのマスク時間を設定することにより、ホットプラグオフ(ケーブルが抜かれた状態)の処理を遅らせて映像を出力し続けることで、モニタとの接続をスムーズに行うことができます。



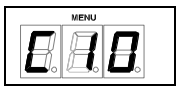
[図 6.9] ホットプラグ オフ マスク設定

・メニューによる設定



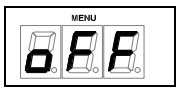
通常状態 (表示 OFF)

↓ SET キー



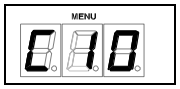
－＋キー　ホットプラグ オフ マスク設定→C10 を選択

↓ SET キー



－＋キー　ホットプラグ オフ マスク設定を選択 (初期値は OFF)
OFF、2～15: 2 秒～15 秒

↓ SET キー



処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

6.26 強制カラー変換モード出力設定

カラー変換モードを設定します。

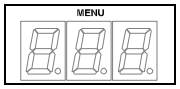
本メニューは[**6.22 メンテナンス表示設定** （47 ページ）] を ON に設定した場合に表示されます。

通常は入力されるカラーモードと接続されているモニタのカラー変換対応状況に応じて自動で変換出力しますが、何らかの理由でモニタ側で正しく変換できない場合に本設定にてカラー変換モード設定します。

ただし、本メニューはモニタ側で正しく変換できない異常時に用いる機能ですので、通常は設定の必要はありません。

各出力ごとに設定できます。

・メニューによる設定



通常状態（ 表示 OFF ）

↓ SET キー

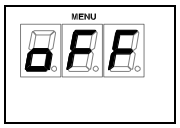
－＋キー　設定する出力コネクタを選択

HDMI OUTPUT→C55 を選択、OUTPUT1→C56 を選択、OUTPUT2→C57 を選択、OUTPUT3→C58 を選択、OUTPUT4→C59 を選択

※HDC-TH201 はメニューC58、C59 を選択することは出来ません。

※HDC-TH101 はメニューC57、C58、C59 を選択することは出来ません。

↓ SET キー



－＋キー　強制 HDMI モード出力の ON/OFF を選択（初期値は OFF ）

OFF:自動 / rgb:RGB 出力 / 422:YCbCr422 出力 / 444:YCbCr444 出力 / d:DVI 出力

↓ SET キー

処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

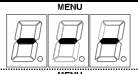
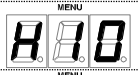
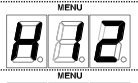
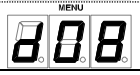
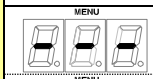
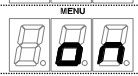
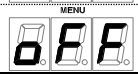
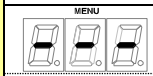
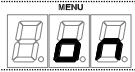
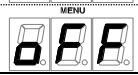
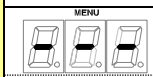
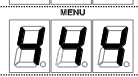
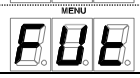
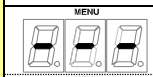
6.27 状態表示

本機の動作状態を表示します。

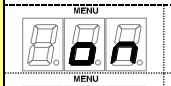
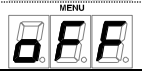
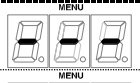
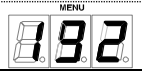
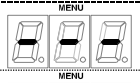
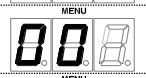
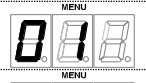
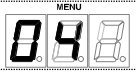
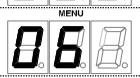
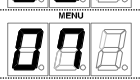
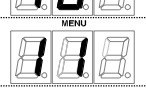
本メニューは[**6.22 メンテナンス表示設定** (47 ページ)] を ON に設定した場合に表示されます。

万が一、本機の映像・音声に問題が発生した場合、トラブル解決のために用います。

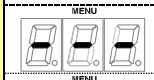
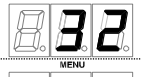
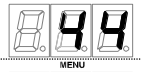
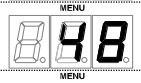
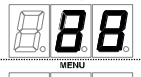
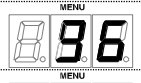
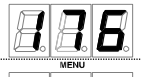
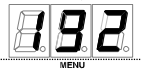
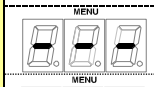
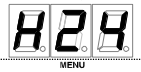
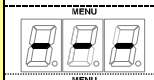
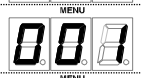
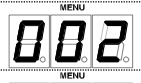
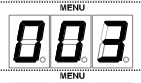
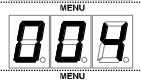
[表 6.11] メニュー番号(状態表示メニュー)

入出力種別	メニュー番号	内容
入力系	L01	入力映像の HDMI モード/DVI モードと色ビット数
		 入力なし
		HDMI モード 8 ビット
		 HDMI モード 10 ビット
		 HDMI モード 12 ビット
		 DVI モード 8 ビット
	L02	入力映像の HDCP 有無
		 入力なし
		 HDCP あり
		 HDCP なし
	L03	入力映像の HDCP 認証有無(ソース側からの認証)
		 入力なし
		 認証あり
		 認証なし
	L04	入力映像の RGB/YCbCr
		 不明または入力なし
		RGB
		 YCbCr 444
		YCbCr 422
		 拡張用
	L05	入力映像周波数
		 入力なし
		入力垂直周波数(59.9Hz の場合)

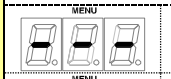
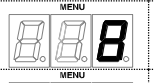
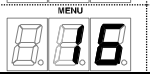
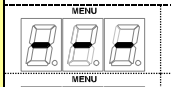
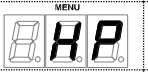
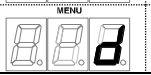
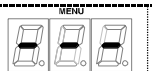
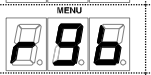
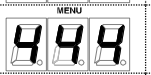
[表 6.12] メニュー番号(状態表示メニュー)

入出力種別	メニュー番号	内容
	L06	DDC 電源入力状態
		 DDC 電源入力あり
		 DDC 電源入力なし
	L07	入力タイミング
		 入力なし
		 入力解像度をスクロール表示
	L10	音声入力形式(上位 2 桁)とチャンネル数(下位 1 桁)
		 不明または入力なし
		 不明
		 PCM Audio
		AC-3 Audio
		MPEG-1 Audio
		 MP3 Audio
		MPEG-2 Audio
		 AACLC Audio
		 DTS Audio
		ATRAC Audio
		DSD Audio
		Dolby Digital + Audio
		 DTS-HD Audi
		Dolby TrueHD Audio
		DST Audio
		WMA Audio
		HE-AAC/HE-AACv2/MPEG Surround Audio

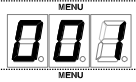
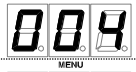
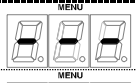
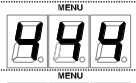
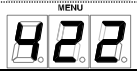
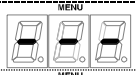
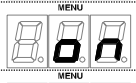
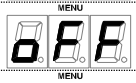
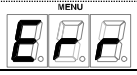
[表 6.13] メニュー番号(状態表示メニュー)

入出力種別	メニュー番号	内容
入力系	L11	音声入力周波数
		 入力なし
		22.05kHz
		24kHz
		 32kHz
		 44.1kHz
		 48kHz
		 88.2kHz
		 96kHz
		 176.4kHz
		 192kHz
		768kHz
	L12	音声入力ビット数、HBR モード
		 入力なし
		 HBR モード、24 ビットの場合
		PCM モード、24 ビットの場合
	L13	音声入力状態
		 入力なし
		音声入力なし
		 入力検出中
		 入力検出中
		 入力検出中
		 入力検出中
		入力検出中
		正常入力

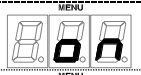
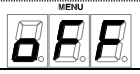
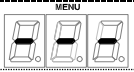
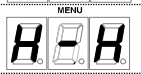
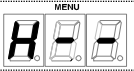
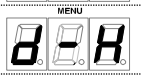
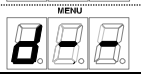
[表 6.14] メニュー番号(状態表示メニュー)

入出力種別	メニュー番号	内容	
出力系	L30～L34	接続モニタの Deep Color 対応状況	
		HDMI OUTPUT→L30、OUTPUT1→L31、OUTPUT2→L32 OUTPUT3→L33、OUTPUT4→L34 ※HDC-TH201 には、L33、L34 のメニュー番号はありません。 ※HDC-TH101 には、L32、L33、L34 のメニュー番号はありません。	
			未接続またはモニタ情報読み込みエラー
			8 ビット
			10 ビット
			12 ビット
			16 ビット
	L35～L39	接続モニタの HDMI/DVI 対応状況	
		HDMI OUTPUT→L35、OUTPUT1→L36、OUTPUT2→L37 OUTPUT3→L38、OUTPUT4→L39 ※HDC-TH201 には、L38、L39 のメニュー番号はありません。 ※HDC-TH101 には、L37、L38、L39 のメニュー番号はありません。	
			未接続またはモニタ情報読み込みエラー
			HDMI モード(圧縮音声対応)
			HDMI モード(PCM 音声対応)
			DVI モード(音声未対応)
	L40～L44	接続モニタの RGB/YCbCr 対応状況	
		HDMI OUTPUT→L40、OUTPUT1→L41、OUTPUT2→L42 OUTPUT3→L43、OUTPUT4→L44 ※HDC-TH201 には、L43、L44 のメニュー番号はありません。 ※HDC-TH101 には、L42、L43、L44 のメニュー番号はありません。	
			未接続またはモニタ情報読み込みエラー
			RGB 対応モニタ
			RGB、YCbCr 444/422 対応モニタ
			RGB、YCbCr 422 対応モニタ

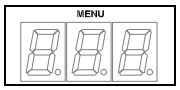
[表 6.15] メニュー番号(状態表示メニュー)

入出力種別	メニュー番号	内容
出力系	L45～L49	接続モニタとの HDCP 状態 HDMI OUTPUT→L45、OUTPUT1→L46、OUTPUT2→L47 OUTPUT3→L48、OUTPUT4→L49 ※HDC-TH201 には、L48、L49 のメニュー番号はありません。 ※HDC-TH101 には、L47、L48、L49 のメニュー番号はありません。
		なし
		 認証中
		認証中
		認証中
		 認証正常終了
		認証異常終了
	L50～L54	RGB/YCbCr 出力状態 HDMI OUTPUT→L50、OUTPUT1→L51、OUTPUT2→L52 OUTPUT3→L53、OUTPUT4→L54 ※HDC-TH201 には、L53、L54 のメニュー番号はありません。 ※HDC-TH101 には、L52、L53、L54 のメニュー番号はありません。
		 未接続
		RGB 出力
		 YCbCr 444 出力
		 YCbCr 422 出力
	L55～L59	接続モニタの HDCP 対応状態 HDMI OUTPUT→L55、OUTPUT1→L56、OUTPUT2→L57 OUTPUT3→L58、OUTPUT4→L59 ※HDC-TH201 には、L58、L59 のメニュー番号はありません。 ※HDC-TH101 には、L57、L58、L59 のメニュー番号はありません。
		 未接続(EDID が読み込めなかった)
		 HDCP 対応
		 HDCP 非対応
		 モニタ情報読み込みエラー

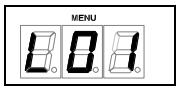
[表 6.16] メニュー番号(状態表示メニュー)

入出力種別	メニュー番号	内容
出力系	L60～L64	接続モニタとのホットプラグ検出
		HDMI OUTPUT→L60、OUTPUT1→L61、OUTPUT2→L62 OUTPUT3→L63、OUTPUT4→L64 ※HDC-TH201 には、L63、L64 のメニュー番号はありません。 ※HDC-TH101 には、L62、L63、L64 のメニュー番号はありません。
		 ホットプラグ検出あり
		 ホットプラグ検出なし
	L65～L69	HDMI/DVI モード、HDCP 出力状態
		HDMI OUTPUT→L65、OUTPUT1→L66、OUTPUT2→L67 OUTPUT3→L68、OUTPUT4→L69 ※HDC-TH201 には、L68、L69 のメニュー番号はありません。 ※HDC-TH101 には、L67、L68、L69 のメニュー番号はありません。
		 未接続
		 HDMI モード出力、HDCP 付加
		 HDMI モード出力、HDCP なし
		 DVI モード出力、HDCP 付加
		 DVI モード出力、HDCP なし

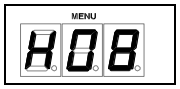
・メニューによる設定

 通常状態 (表示 OFF)

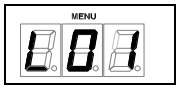
↓ SET キー

 －＋キー　状態表示→L01～L69 を選択

↓ SET キー

 各状態を表示します。

↓ SET キー

 処理が終わると 7-SEGMENT LED はメニューに戻ります。

7 仕様

7.1 製品仕様

外観と仕様は予告なく変更することがあります

		HDC-TH401	HDC-TH201	HDC-TH101
入力数		HDMI:1 系統		
出力数		HDMI:1 系統、HDC:4 系統	HDMI:1 系統、HDC:2 系統	HDMI:1 系統、HDC:1 系統
入出力信号		HDMI 入出力:TMDS DVI 1.0 シングルリンク HDCP 対応 (注 1) HDC 出力:延長用デジタル信号		
入力コネクタ		HDMI TypeA(19 ピン)・メス(注 2)		
出力コネクタ		HDMI TypeA(19 ピン)・メス(注 2) RJ-45 (注 3)		
対応フォーマット		SDTV/HDTV:480i/480p/576i/576p/720p/1080i/1080p VESA(PC):VGA～QWXGA ※WXGA++/VESA1080/WUXGA/QWXGA は Reduced Blanking のみ対応しています。		
色深度		24bit、30bit、36bit Deep Color		
ドットクロック		25 MHz ～ 165 MHz		
TDMS クロック		25 MHz ～ 225 MHz		
プラグ&プレイ		DDC2B 対応 (内蔵 EDID/モニタからコピーした EDID/接続した受信器の EDID の中から選択)		
音声	デジタル入出力	マルチチャンネルリニア PCM 最大 8 チャンネル 基準レベル:-20 dBFS 最大入出力レベル:0 dBFS		
	アナログ出力	1 系統 ステレオ L/R アンバランス信号 出力インピーダンス:75Ω 基準レベル:-10 dBu、最大出力レベル:+10 dBu (注 4) コネクタ:RCA ピンジャック		
機能				
内容		デイジーチェーン接続 入出力信号の状態表示機能 アンチストーム機能 (注 5) コネクションリセット機能 (注 6)		
延長用ケーブル				
適合ケーブル		Cat6 UTP/STP ケーブル、Cat5e UTP/STP ケーブル (注 7)		
最大延長距離		60m (注 8)		
その他仕様				
電源電圧		AC 90 V ～ 250 V、50 Hz/60 Hz±3 Hz		
消費電力		約 18 W	約 12 W	約 9 W
外形寸法		210(W)×44(H)×300(D) mm (EIA ハーフラック IU、突起物含まず)		
質量		2.0kg	1.9kg	1.9kg
温度		使用範囲:0℃～+40℃	保存範囲:-20℃～+80℃	
湿度		使用範囲:20%～90%(ただし結露なきこと)	保存範囲:20%～90%(ただし結露なきこと)	
付属品		電源コード(1.8 m)、コードクランプ×2		

（注 1） xvYCC,Lip Sync,HEC,3D,ARC には対応していません。
CEC は、HDMI INPUT と、選択したいずれか 1 系統の出力間でパススルーになります。

（注 2） 5m 以下の HDMI ケーブルを使用してください。

（注 3） RJ-45（HDC 端子）はデジタル信号を延長する専用端子です。弊社ツイストペアケーブル延長機との組合せでご使用ください。LAN 機器などには接続しないでください。

（注 4） アナログ音声出力は 2 チャンネルリニア PCM のみ対応します。

（注 5） HDCP により著作権保護された映像を表示する際に、度々発生する砂嵐映像表示を自動復旧させる機能です。
おもに起動時に発生する砂嵐問題を復旧させる機能であり、本機に入力された信号で既に砂嵐が発生している場合や、伝送路の品位で発生する砂嵐問題には対応できません。

（注 6） デジタル AV システム特有の、コネクタの抜き差しにより映像表示が復旧する問題を、自動復旧させる機能です。
コネクションリセット機能は本機出力のみに対応した機能で、本機出力と表示機器の間に他の機器が接続されている場合は、機能が有効にならない場合があります。

（注 7） T568A もしくは T568B のストレート結線です。30 m を超える場合は Cat6 ケーブルを推奨します。

（注 8） Cat6 ケーブルの最大延長距離は、本機と接続する送信器、受信器またはシンク機器の最大延長距離の短い方の距離となります。

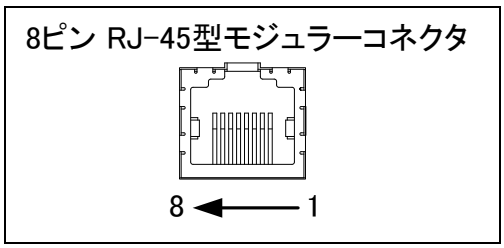
※HDCP により著作権保護された DVI 信号を伝送する場合は、DVI 信号に対応した弊社ツイストペアケーブル延長器をお使いください。
※付属の電源コードは本機専用品です。他の機器にはご使用にならないでください。
※HDMI、HDMI ロゴ、及び High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。

7.2 HDMI Type A コネクタのピン配列

[表 7.1] HDMI TypeA コネクタのピン配列

1	TMDS Data2+	2	TMDS Data2 Shield	3	TMDS Data2－
4	TMDS Data1＋	5	TMDS Data1 Shield	6	TMDS Data1-
7	TMDS Data0+	8	TMDS Data0 Shield	9	TMDS Data0-
10	TMDS Clock+	11	TMDS Clock Shield	12	TMDS Clock-
13	CEC	14	Reserved(NC)	15	SCL
16	SDA	17	DDC/CEC Ground	18	+5V Power
19	Hot Plug Detect				

7.3 RJ-45 コネクタのピン配列



[図 7.1] ピン配列

[表 7.2]TIA/EIA-568A ピン配列

ピン番号	信号名
1	WHITE/GREEN、Stripe
2	GREEN
3	WHITE/ORANGE、Stripe
4	BLUE
5	WHITE/BLUE、Stripe
6	ORANGE
7	WHITE/BROWN、Stripe
8	BROWN

[表 7.3] TIA/EIA-568B ピン配列

ピン番号	信号名
1	WHITE/ORANGE、Stripe
2	ORANGE
3	WHITE/GREEN、Stripe
4	BLUE
5	WHITE/BLUE、Stripe
6	GREEN
7	WHITE/BROWN、Stripe
8	BROWN

8 正常に動作しないときは

本機が正常に動作しないときは、まず、以下の点をご確認ください。

・本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
・ケーブルは正しく接続されていますか？
・ケーブルの接触不良はありませんか？
・機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
・接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
・表示機器は正しく設定されていますか？
・機器の近くにノイズの原因となるようなものがありませんか？

それでも問題が解決しない場合は、以下の点をご確認ください。また本機に接続されている機器に原因がある場合もありますので、そちらの取扱説明書も参照しながらご確認ください。

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
映像出力		
入力からの映像が出力されない	ケーブルの配線に問題が無い場合は、まず、[1]～[2]をご確認ください。	―
	[1] 本機の EDID 解像度設定が、表示機器が対応している入力解像度に選択されていますか？ ・工場出荷時の EDID 解像度設定は 1080p に設定されており、市販のテレビによっては対応していない場合があります。 ・EDID 解像度設定を 1080i に設定した場合、インターレース信号に対応していない表示機器には映像が出力されない場合があります。 ・パソコン用のモニタはテレビ系の解像度に対応していない場合があります。逆に、パソコン系の解像度(VGA～WUXGA)は、液晶テレビには映像が出力されない場合があります。	26
	[2] 入力機器から信号が出力されていますか？ ・リアパネルの[SIGNAL LED]が点灯している場合は[3]～[5]を、消灯している場合は [6]～[7]をご確認ください。	11
	[3] HDCP により著作権保護された信号が入力されている場合は、表示機器が HDCP に対応していますか？ ・表示機器が HDCP に対応していない場合、著作権保護された信号が本機に入力された場合は出力には表示されません。接続モニタの HDCP 対応状態をご確認ください。	52
	[4] 5m 以内のケーブルを使用していますか？ ・本機の入力ケーブルは 5m 以内を使用してください。	15
	[5] 対応範囲外の信号が入力されていませんか？	58
	[6] 無入力監視時間設定が短かすぎませんか？	31
	[7] 入力機器の映像出力設定を確認してみてください。	―

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
映像出力		
映像が途切れる、または映像にノイズが入る	高速な信号(UXGA, WUXGA, 1080p など解像度の高い信号や、Deep Color 信号など)を入出力したときに、ケーブルの品質や接続する機器によっては、映像が表示されなかったり、映像にノイズが入ることがあります。 全ての出力で症状が出る場合は入力側、特定の出力で症状が出る場合は出力側に原因があります。 EDID の設定により入力される信号の解像度や色深度の制限が可能です。	33
	映像を表示中に他の周辺機器の電源を ON/OFF させると、映像が途切れることがあります。 その場合は、ノイズ源と思われる周辺機器を本機から遠ざけるか、映像が表示されていないときに電源の操作を行ってください。 ツイストペアケーブルの長さを短くすることや、STP ケーブルにして正しくグランド処理をすることにより改善される場合があります。	16
	HDCP により著作権保護された DVI 信号を入力していませんか？ HDCP により著作権保護された DVI 信号を伝送する場合は、DVI 信号に対応した弊社ツイストペアケーブル延長機をお使いください。	19
映像がちらつく	インターレース信号に対応していない表示機器にインターレース信号を入力すると、映像がちらついて見える場合があります。モニタの対応解像度をご確認ください。	26
パソコンの「デュアルモニタ」が設定できない、または設定しても解除されてしまう	無入力の監視機能が働くと、「デュアルモニタ」が正常に動作しない場合があります。この場合は、無入力の監視機能を OFF に設定してください。	31
音声出力		
映像は表示されるが音声が出力されない	[6.18 音声出力設定(44 ページ)] にて、音声出力 OFF に設定していませんか？	44
	入力機器に複数の出力端子がある場合は、入力機器の音声出力設定をご確認ください。	―
	接続されている表示機器または AV アンプが対応しているフォーマットの音声が入力されていますか？特に液晶モニタは、リニア PCM のサンプリング周波数 88.2kHz 以上、および圧縮音声(Dolby Digital、DTS など)を出力できない場合があります。 圧縮音声の収録されたブルーレイディスクなどを再生する場合は、入力機器の音声出力設定をご確認ください。 なお EDID の設定により、入力機器から出力する音声信号を制限することも可能です。	34 ～ 40
マルチチャンネルの音声を再生しているのに 2ch の音声しか出力されない。	工場出荷時は EDID の設定で 2ch に入力を制限しています。マルチチャンネルの再生を行う場合、EDID の設定を変更してください。	41

こんなときは	ここを確認してください	参照ページ
音声出力		
HDMI 出力からは音声が出力されるが、アナログ音声出力からは音声が出力されない	圧縮音声(Dolby Digital、DTS など)が入力されている場合、アナログ音声は出力されません。本機のアナログ音声出力は 2ch リニア PCM にのみ対応しております。	19
アナログ音声出力からは音声が出力されるが、HDMI 出力からは音声が出力されない	音声出力設定にて、音声出力 OFF に設定していませんか？	44
	接続されている表示機器または AV アンプが音声を出力できる解像度を選択していますか？ パソコン系の出力解像度(VGA～WUXGA)を選択した場合、表示機器または AV アンプが音声を出力できない場合があります。	26
	接続されている表示機器または AV アンプが対応しているサンプリング周波数ですか？液晶モニタは高いサンプリング周波数(88.2kHz 以上)の音声を出力できない場合があります。 尚、EDID の設定により、入力機器から出力する音声信号を制限することも可能です。	34 ～ 40
入力機器から圧縮音声(Dolby Digital、DTS など)が出力されない	工場出荷時は EDID の設定で圧縮音声の入力を制限しています。 圧縮音声を使用する場合は、EDID の設定を変更してください。	34 ～ 40
	入力機器の音声出力設定をご確認ください。	―

以上の内容を確認しても問題が解決しない場合は、(株)アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部までご連絡ください。故障の連絡をする際には以下の点を事前にテストしてください。

1.全ての出力で同じ現象がでますか？
−はい− −いいえ−
2.本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは正常に動作しますか？
−はい− −いいえ−

株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部
TEL (046) 200-0764 FAX (046) 200-0765
月曜～金曜 AM9:00 ～ PM5:00

株式会社　アイ・ディ・ケイ
TEL (046)200-0764　　FAX (046)200-0765
月曜～金曜　AM9:00～PM5:00

発行日　2013 年 10 月 17 日　Ver.1.3.0
＊本書は改善の為，事前の予告無く変更することがあります。
＊本書の無断転載を禁じます。